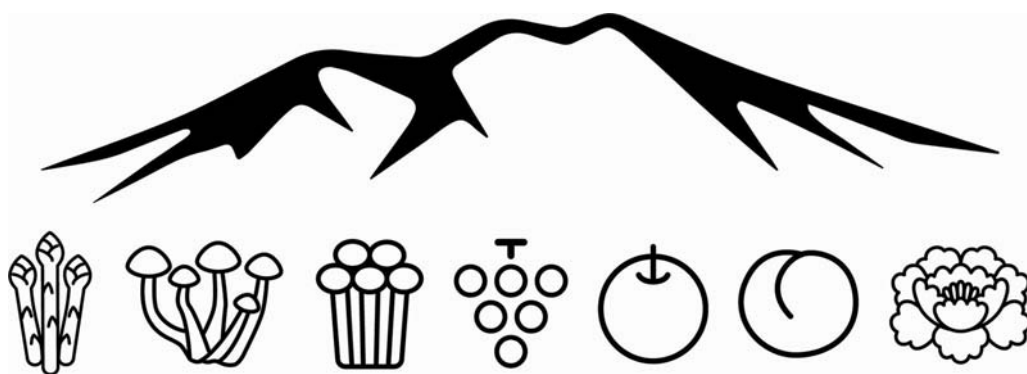


設立60周年記念誌

***Weave History,  
Create Agrifuture.***

～これまでと、これからと～



J A 中野市青年部

# J A 青年組織綱領

我々 J A 青年組織は、日本農業の担い手として J A をよりどころに地域農業の振興を図り、J A 運動の先駆者として実践する自主的な組織である。

さらに、世界的視野から時代を的確に捉え、誇り高き青年の情熱と協同の力をもって、国民と豊かな食と環境の共有をめざすものである。

このため、J A 青年組織の責務として、社会的・政治的自覚を高め、全国盟友の英知と行動力を結集し、次のことに取り組む。

## 1. われらは、農業を通じて環境・文化・教育の活動を行い、地域社会に貢献する。

J A 青年組織は、農業の担い手として地域農業の振興を図るとともに、農業を通じて地域社会において環境・文化・教育の活動を行い、地域に根ざした社会貢献に取り組む。

## 1. われらは、国民との相互理解を図り、食と農の価値を高める責任ある政策提言を行う。

人間の「いのちと暮らし」の源である食と農の持つ価値を高め、実効性のある運動の展開を通じて、農業者の視点と生活者の視点を合わせ持った責任ある政策提言を行う。

## 1. われらは、自らが J A の事業運営に積極的に参画し、J A 運動の先頭に立つ。

時代を捉え、将来を見据えた J A の発展のため、自らの組織である J A の事業運営に主体的に参加するとともに、青年農業者の立場から常に新しい J A 運動を探求し、実践する。

## 1. われらは、多くの出会いから生まれる新たな可能性を原動力に、自己を高める。

J A 青年組織のネットワークを通じて営農技術の向上を進めるとともに、仲間との交流によって自らの新たな可能性を発見する場をつくり、相互研鑽を図る。

## 1. われらは、組織活動の実践により盟友の結束力を高め、あすの担い手を育成する。

J A 青年組織の活動に参加することによって、個人では得られない達成感や感動を多くの盟友が実感できる機会をつくり、このような価値を次代に継承する人材を育成する。

(注釈) 本綱領は、J A 全青協設立の経過を踏まえて「鬼怒川5原則」「全国青年統一綱領」の理念を受け継ぎ、創立50周年を契機に現代的な表現に改めるとともに、今後目指すべき J A 青年組織の方向性を新たに盛り込んだものである(平成17年3月10日制定)。

## 目次

---

発刊にあたって	2
60周年を祝して	3
初代から49代までの青年部の主な動き	6
歴代委員長（50代～59代） 60周年に寄せて	19
支部の横顔	29
青年部50年からの足跡	32
あとがき	35

---

## 60周年を迎えるにあたり



J A中野市  
青年部第60代委員長  
**三井 透**

J A中野市青年部は、昭和39年に発足し、今年で60周年を迎えました。ここに60周年の記念誌を発刊できますのは、ひとえに、歴代委員長さんをはじめとする諸先輩方のご努力と、J A中野市はもとより、行政関係各位のご支援の賜物と、心より感謝を申し上げます。

先輩方が築き上げてくださった道筋を振り返れば、決して平坦な道すがらではありませんでした。10年前の平成25年、政府はTPP参加を表明し、翌年からは政府の規制改革会議を端に、農協自己改革が進められてまいりました。近年では、世界中に猛威を振るった新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻、またそれらに伴う世界規模で燃料、資材価格の高騰が現在も続いています。

10年前の記念誌を紐解いたとき、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加などが触れられていました。2023年の現在もこれらの課題は、解決に向けて行動し続けている状態です。

60年前、我々の先輩方がどういった思いでこの組織を立ち上げたのか？そして、今日までJ A青年部活動がどのように引き継がれてきたのか？そんなことを考える機会がコロナ禍を経て増えました。

私たちが普段使っている農地、農道、そして農業用水路などは、親や地域の住民の力によって支えられ、育てた農産物の売り先や、農機具を購入するときに使う補助金などは組合員とJ Aがタッグを組んで、市場や国に対して声をあげてきた結果、近年のシャインマスカットの産地化が世界に先駆け、いち早くできたことだと思います。

我々の青年部綱領にはJ Aをよりどころにという言葉があります。盟友は生産する品目は違えど、ここ中野市の農業のこれからを語り合い、行動できる唯一無二の場所です。

青年部活動には農政活動はもとより、地元の賑わいを作ることも必要だと感じます。

J A中野市青年部では、同じく市内で活動する青年団体の中野青年会議所と信州中野商工会議所青年部と共に造り上げたイベント「信州中野おごっそフェア」をはじめ、各事業の終わりにはしっかりと、町なかに盟友とくり出し、楽しむことで賑わいを創出しています。

盟友の平均年齢が上がり、個々の役割も増えていく中で、どうやってこの場所を残すのか、盟友一人一人が考え行動でき、最後には楽しめる。そんな組織にしていきたいです。

最後に、記念誌発刊にあたりご寄稿いただいた皆様、ご支援、ご協力いただきましたJ A中野市、行政関係の皆様方に心より感謝とお礼を申し上げ、発刊の言葉とさせていただきます。

## 60周年を祝して



中野市長

**湯本 隆 英**

J A中野市青年部が設立60周年を迎えられることを、心よりお祝い申し上げます。

J A中野市青年部は、本市農業の担い手として地域農業の振興を図り、農業の先駆者として実践する自主的な組織であり、その活動は、農業と食文化の進展に大きく寄与し、また、農業のみならず地域社会の発展に大きく貢献するなど、本市が掲げる「農業王国」中野市の推進に繋がる取り組みをいただいていることに対しまして、敬意を表するとともに感謝申し上げます。

また、人間の「いのちと暮らし」の源である食と農の持つ価値を高め、実効性のある運動の展開を通じて、農業者の視点と生活者の視点を合わせ持った責任のある政策提言を行ってこられ、今日まで、本市に欠かせない役割を担う組織として存在感を示されております。

これまで行ってこられた政策提言は、農業のみならず、食の安心・安全や地域社会の発展など、多岐にわたるものであり、その提言が国や地方自治体、農業関連団体などに影響を与え、実際の政策や制度の改善にもつながっているものと存じます。

さらには、新たな局面を迎えた新型コロナウイルス感染症対策や、ロシア・ウクライナ戦争などによる社会情勢の変化には、いまだ目が離せない状況の中にあることから、地域農業を支えてこられたその役割は、これまで以上に大きくなるものと期待しております。

特に、ますます求められる食と農の持続可能性については、J A中野市青年部をはじめ、行政を含む関係機関が一丸となって取り組んでいくことが重要であります。

市といたしましても、地域農業の振興に向けて新たな可能性を追求し、時代に合わせた新しい施策を提案することで、J A中野市青年部がさらなる発展を遂げるために、一層の支援を行いたいと考えております。

結びに、J A中野市青年部がこれからも多くの人々に「農業王国」中野市の魅力を伝え、地域農業の発展を促進していかれることをご期待申し上げますと共に、J A中野市青年部の益々のご繁栄を衷心より祈念申し上げます。

## 60周年を祝して



JA中野市  
代表理事組合長

望月 隆

JA中野市青年部が誕生し、60周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

昭和39年4月に市内9農協が合併し、今日のJA中野市が発足しました。これを契機に同年12月にJA中野市青年部が設立され、これまで中野市農業の振興とJA事業の発展に寄与されましたことに、深く感謝申し上げます。

JA中野市の販売高は、高度経済成長にも後押しされ、平成3年度には230億円を達成しましたが、世界貿易機構（WTO）の発足を契機に農業を取り巻く情勢は厳しさを増し、平成15年度には158億円まで低迷しました。

これら日本農業の存続危機においても、盟友の若い力と何事にも前向きに挑戦し続ける姿勢に支えられながら、今では生産販売事業は300億円を目指せる農協へと成長を遂げることができました。農業を取り巻く環境は人口減少による農業就業者数の減少、地政学的リスク発生による資材価格やエネルギー価格の高騰など厳しい状況が続いておりますが、青年部盟友とJAグループを挙げた協同の力で持続可能な地域共生社会の実現に向け、共に新時代へのステップを踏み出しましょう。

JA中野市の組合員が望む姿として、広域合併JAに取り込まれず「JA中野市のままであり続ける」ことであり、この目標に向け組合員の皆様のご理解とご協力により事業改善・改革を実施してまいりました。これにより本来JAがあるべき姿である経済事業の収支均衡を図ることが出来ました。これからも生産販売農協として、独自の農業振興をすすめ、組合員の農業所得向上に取り組んでまいります。

JA中野市青年部が70周年、80周年へと更に飛躍していくため、今日まで受け継いできた盟友同士の団結力と行動力をしっかりと繋ぎ、一人一人が未来のリーダーとして地域農業と地域社会をけん引していただきたいと願っています。最後に、JA中野市青年部が益々ご発展されることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



## 60周年を祝して



JA長野県  
青年部協議会  
会長

清水 滉平

JA中野市青年部が発足され、ここに60周年を迎えられましたことを、県下のJA青年組織を代表して心からお慶び申し上げます。

地域農業の振興をはじめ協同組合運動の実践者として、多様な活動と学習を重ねてこられたJA中野市青年部の皆様、そしてこの日まで60年の長きに渡り組織を維持し発展させて来られた先輩方に対し、心より敬意を表します。

こうした中、JA長野県青年部協議会の活動・運動におきましても、先駆者として、また実践者として、県内外で積極的に活動して頂きました。ここ最近の10年を振り返って見ますと、農業青年の主張大会（1回：平成29年度）・活動実績発表大会（2回：平成26・令和2年度）で、組織一丸となり強い結束力のもと長野県代表として関東甲信越農青協大会に進み、うち2回（平成26・29年度）で最優秀賞を受賞し、全国大会に出場するなど輝かしい実績を残しておられます。

またJA長野県青年部協議会会長として2名の方が就任され、新しい活動や多彩なアイデアの試みで、県全体のリーダーとして牽引し、JA長野県青年部協議会の発展にご尽力頂きましたことに対し、感謝申し上げます。

農業を取り巻く状況は、かつてなく厳しさを増しています。この局面を乗り越え、安心・安全な農畜産物を生産し消費者に安定供給していくため、私たちJA青年部の役割は、ますます重要になると思います。青年部のエネルギーが、次代へつなげる原動力であり、盟友の力が結集すれば、新たな活路がさらに広がるものと信じています。

最後になりましたが、JA中野市青年部の益々のご発展と皆さまのご活躍・ご健勝を祈念いたしまして、祝辞といたします。

## 60周年を祝して



JA女性部  
部長

山崎 よう子

JA中野市青年部設立60周年及び記念誌発行を謹んでお慶び申し上げます。

JAと共に農業発展のために若い力を結集し、活動されてこられたことに改めて敬意を表します。

好調継続の難しさは女性部活動にもありますが、近年の皆様におかれましては、学習研鑽と内外への働きかけなど頼もしく輝いています。

新型コロナウイルスも感染症法上5類に移行し、明るさが感じられつつあります。しかし、ウクライナ情勢による食料、飼料、原油の輸出入が難航し、買い占め国による物不足から物価高が容赦なく生じています。異常気象による困惑、担い手の高齢化等といった難題が一気に押し寄せ、視点を変えての取り組みが求められています。

今、私たちに何ができるか、思いを一つにして立ち向かう時だと思われれます。幸い仲間がいます。輪を広げながら生産の喜びや重要性をさらに波及し、豊かな暮らしの実現に貢献されることをご期待申し上げます。

## ● JA 青年部誕生の背景 ●

農業を考え、農業生産を高めるにはと、各地区の農事研究グループが誕生し、農業技術や農家簿記の講習会など、活発に開催しておりました。そしてこれらを組織化する動きが昭和27、28年頃から始まり、郡段階（中高地区）に農協青年部の発足を見るに至った。しかしこの時天候不順による大凶作に見舞われ、災害対策や農業再建にはやくも農協青年部が先頭に立って活動しました。

それ以降中高段階で、農協青年部の末組織地区の解消や組織の拡充に努め、単位地区では水田の施肥設計に基づく肥料共同配合の実施、健苗育成に共同苗代の設置、米価要求をはじめとする農政運動の展開などが活動の主体でありました。また、リンゴを中心に生産技術を修得しようと、果樹研究同志会が昭和25年頃に設立され、中高地区全域にわたって活動しておりました。当時は今の飯山市木島地区も管内であり、特に事業活動の重点は、リンゴの栽培技術講習会の開催をはじめ、リンゴの防除歴の作成、栽培農家への配布など

があげられます。

昭和30年代の後半には中野市農協の合併問題も、研究委員会から具体的に合併に向けての推進委員会に進展し、市内の各地農協青年部も中高農業会館や、当時の中野支所に集まって、農協合併推進上の功罪から農協役員に青年部の盟友を送ろうなど激論を交わしました。そして農協に対しては、強力な実践的批判者としての立場をとっていたのです。

このようにして、昭和39年4月1日に市内9農協が大同合併し、中野市農協の誕生をみました。これを契機に農協青年部も、統合すべく準備がすすめられましたが、若干時間を費やしたのは、前段でも触れた果樹研究同志会が農協青年部と発展的に統合し、中野市農協青年部と名称をかえることになったためであり、それぞれの活動形態も専門部活動の充実をはかるという方向ですすめられました。そして遂に昭和39年12月、中野市公民館において設立され、中野市農協青年部が誕生したのであります。

初代・2代委員長 堀内惣太郎

JA 中野市青年部の主な活動

記録不明

社会の主な動き

昭和39年

- ・ 東京オリンピック
- ・ 新潟大地震
- ・ 北海道新幹線開通
- ・ 佐藤内閣発足
- ・ ソ連フルシチョフ首相辞任、ブレジネフ一等書記に

昭和40年

- ・ 日韓条約成立
- ・ 朝永博士にノーベル物理学賞
- ・ 吉展ちゃん事件解決
- ・ 米国ベトナム戦争で北爆開始
- ・ 野村克也、パリーグの打撃三冠王



3代委員長 小林 忠 治

<p>昭和41年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽田沖で全日空727型機墜落</li> <li>・国会の「黒い霧」</li> <li>・ピートルズ来日</li> <li>・「敬老の日」「体育の日」新設</li> <li>・鈴木医師の集団チフス事件</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4・23 第二回定期総会</li> <li>4・25～5・15 りんご共同開葯の実施</li> <li>6・20 青年部、婦人部合同米価大会</li> <li>7・5 りんご団地総合品評会審査(第二回九月、第三回十月※昭和四十四年度まで継続)</li> <li>7・20 畜産部長会議(酪農、養豚、養鶏)</li> <li>8・10 青年部、婦人部農協懇談会</li> <li>8・22 もも弱剪定成績検討会</li> <li>9・24 きのか部会生産量調査</li> <li>10・10 高級りんご栽培研究会</li> <li>10・31～11・3 青森県りんご作況調査</li> <li>1・27 果樹剪定技術士認定</li> <li>2・23 『若い農業者の集い』</li> <li>※青年部、婦人部合同、昭和四十六年まで継続</li> <li>3・8 りんご品種更新研究会</li> </ul>
---	---

4代委員長 宮 崎 隆 至

<p>昭和42年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉田茂元首相死去</li> <li>・羽田学生デモ事件</li> <li>・小笠原諸島返還決まる</li> <li>・東海村に原子の火ともる</li> <li>・大相撲初場所で大鵬六場所連続優勝</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4・21 第三回定期総会</li> <li>5・2 果樹、園芸合同会議</li> <li>6・7 農政部長会議(米価大会について)</li> <li>7・17 果樹、園芸合同会議</li> <li>9・22 青年部、婦人部懇談会開催</li> <li>10・30～11・3 果樹部視察(秋田方面)</li> <li>2・15 支部長、果樹部長会議</li> <li>※時代を反映して果樹、園芸合同会議が多く開催された</li> </ul>
---	---

5代委員長 上 野 佐 平

<p>昭和43年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本初の心臓移植</li> <li>・川端氏にノーベル文学賞</li> <li>・飛騨川バス転落惨事</li> <li>・3億円事件</li> <li>・キング牧師暗殺</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4・27 園芸団体組織整備打合せ</li> <li>4・30 第四回定期総会</li> <li>6・24 支部長、農政部長会議(米価運動について)</li> <li>7・22 中野市りんご組合設立準備会</li> <li>8・9 もも適正剪定検討会</li> <li>9・2 宮城県角田市農協青年部との懇談会</li> <li>9・7～9・8 研修視察(北安小谷村小学校)</li> <li>9・18～9・22 青森県りんご研修視察</li> <li>12・23 青年部研修会『農協事業のあらまし』</li> <li>1・24 青年部、婦人部、農協経営者合同役員会</li> <li>2・6 冬期講座開催</li> <li>※昭和五十年年度まで継続</li> <li>3・13 果樹部研究発表会</li> </ul>
--	--

6代委員長 藤 沢 光 幸

<p>昭和44年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「沖繩昭和47年返還」決まる</li> <li>・東大安田講堂占拠の学生排除</li> <li>・アポロ11号月面に着陸</li> <li>・高校野球松山商と三沢高引き分け再試合</li> <li>・ニクソン大統領就任</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・29 第五回定期総会</li> <li>7・30 優良農協青年部視察(あづみ農協、松本平農協青年部)</li> <li>8・21 第十八回県青年部大会で優良農協青年部表彰を受ける</li> <li>8・23～8・24 全国りんご研究大会 於北海道</li> <li>9・18～9・21 秋田県りんご視察(平鹿農協、秋田県園試)</li> <li>9・20 青年の船による海外研修生壮行会</li> <li>10・6 支部長、農政部長会議(営農類型の推進について)</li> <li>10・23 りんご新品種研究会(新品種導入について)</li> <li>11・4 農協労組との懇談会 ※以降継続</li> <li>1月 営農類型と規模拡大調査(全農家対象)</li> <li>1・22 第一回農家と税金の講習会</li> <li>2・24 青年部、農協管理者懇談会</li> <li>3・23 福島県農協青年部との懇談会</li> </ul>
---	---

7代委員長 頓 所 文 貞

<p><b>昭和45年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日航「よど号」事件</li> <li>・日本万博開催</li> <li>・三島由紀夫事件</li> <li>・東京で歩行者天国始まる</li> <li>・プロ野球「黒い霧」事件</li> </ul>	<p><b>社会の主な動き</b></p> <p>4・10 第六定期総会</p> <p>5・23 フラン病撲滅大会</p> <p>7・13 県内農協視察</p> <p>7・18 中野市長立候補者への公開質問状提出</p> <p>7・25～8・7 解答書配布</p> <p>9・2～9・3 全国りんご研究大会参加</p> <p>10・20～10・23 りんご先進地視察（青森県、岩手県）</p> <p>12・8 農村青年リーダー養成研修会参加</p> <p>12・22 青年部代表総代の集い</p> <p>2・12 りんご新品種、流通問題の講習会</p> <p>3・7 農協役員選挙取り組みに伴うチラシ配布実施</p> <p>3・12～3・13 青年部総合研修会 於和合荘</p> <p>3・16 青年部、婦人部と農協管理者との懇談会</p>
---	--

8代委員長 武 田 義 昭

<p><b>昭和46年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日空機と自衛隊機空中衝突</li> <li>・大久保清連続女性殺人事件</li> <li>・1ドル＝360円の固定相場制終わる</li> <li>・環境庁発足</li> <li>・グレープフルーツ他の輸入自由化決定</li> </ul>	<p><b>社会の主な動き</b></p> <p>4・22 第七定期総会</p> <p>5・1～5・18 青年部員の正組合員化運動実施</p> <p>5・24 青年部情報一斉発行</p> <p>6・18 園芸技術員との懇談会</p> <p>6・21 りんごわい化栽培研究会 於長野市赤沼</p> <p>7・16 支部対抗ソフトボール大会（優勝—延徳支部）</p> <p>7・26 一日農協管理職の実施 ※以降継続</p> <p>8・18～8・20 ぶどう新品種研修視察（岡山県）</p> <p>9・14 総代選に伴う協力要請実施（はがきにより各農家組合長宛）</p> <p>11・11 青年部員総代学習会</p> <p>11・28 農協理事者との懇談会 ※以降継続</p> <p>2・14～2・17 先進地農業研修視察（三重県、静岡県）</p> <p>2・23～2・27 青森県りんご視察（新品種穂木の確保）</p>
---	--

9代委員長 竹 内 宗 一

<p><b>昭和47年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合赤軍事件</li> <li>・グアム島で横井さん救出</li> <li>・日中国交正常化（田中内閣発足）</li> <li>・札幌オリオンピック</li> <li>・光化学スモッグ都内各地で発生</li> </ul>	<p><b>社会の主な動き</b></p> <p>4・18 第八定期総会</p> <p>4・19～5・10 農協役員選出方法に関する署名のとりまとめ</p> <p>5・13～5・16 無毒化学事業施設 定（ハウス十坪二棟、安源寺）</p> <p>6・13 青年部担当理事の設定申し入れ</p> <p>6月～7月 土壌検定実施 ※以降継続</p> <p>6・28～7・3 果樹総点検事業（組織の総力あげて適正着果）</p> <p>10・25 県青年部野球大会優勝</p> <p>11・15～11・16 農協祭参加</p> <p>11・27～11・28 苗木団地育成事業</p> <p>1・15～1・17 組合員幹部学校へ参加</p>
--	---

10代委員長 丸 山 隆 正

<p><b>昭和48年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次石油危機</li> <li>・金大中事件</li> <li>・江崎氏にノーベル物理学賞</li> <li>・巨人9連覇</li> <li>・物不足買いだめ騒ぎ</li> </ul>	<p><b>社会の主な動き</b></p> <p>1・31 農協青年部十周年記念大会</p> <p>8・27 農協総代選挙に対する取り組み</p> <p>7・23 市長立候補者への質問状提出</p> <p>7・1 フラン病緊急対策会議（県下一斉）</p> <p>4・3 第十定期総会</p> <p>7・1 フラン病緊急対策会議（県下一斉）</p> <p>3・12 農業青年と技術員の集い</p> <p>11月 市金庫指定運動</p> <p>12・18 市議会傍聴 ※以降継続</p> <p>◎昭和四十八年度 第九定期総会</p> <p>4・16 日本農業新聞の普及 ※以降継続</p> <p>9・15 市議会傍聴 ※以降継続</p>
<p><b>昭和49年</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田中退陣、三木内閣誕生</li> <li>・小野田少尉の救出</li> <li>・佐藤栄作氏ノーベル平和賞</li> <li>・三菱重工ビル爆破事件</li> <li>・国土庁発足</li> </ul>	<p><b>社会の主な動き</b></p> <p>◎昭和四十九年度 第十定期総会</p>

12代委員長 町田 忠雄

<p>昭和50年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖繩海洋博開催</li> <li>・ 第一回先進国首脳会議（サミット）開催</li> <li>・ エリザベス女王来日</li> <li>・ 新幹線博多まで開通</li> <li>・ ベトナム戦争終わる</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <p>3・15 第十一回定期総会</p> <p>4・21 カドミ公害市民抗議集会参加</p> <p>7・1 中野市農業問題懇談会要求米価代表者大会参加</p> <p>7・4 列島縦断米価車リレー ※以降五十七年まで継続</p> <p>7・10 長野県農協青年集会 於 東京</p> <p>7・20 広域合併農協青年リーダー海外研修（ヨーロッパ、ソ連へ1名参加）</p> <p>8・23 信州青年希望の船（香港、フィリピンへ1名参加）</p> <p>10・27 第五回県青年部野球大会優勝</p> <p>11・28 農協青年部総代連絡協議会発足</p>
---	----------------	--

13代委員長 松島 敏正

<p>昭和51年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロッキード事件</li> <li>・ 鹿児島市立病院で5つ子誕生</li> <li>・ 田中前首相逮捕</li> <li>・ ミグ25事件</li> <li>・ 福田内閣誕生</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <p>3・19 第十二回定期総会</p> <p>4・19 市りんごわい化研究会設立会議</p> <p>8・2 農業後継者育成要領にもとづく海外農業研修視察（ヨーロッパへ二十九名参加）</p> <p>10・25 第六回県青年部野球大会優勝</p> <p>12・6 県農民の健康会議参加</p>
--	----------------	--

14代委員長 小林 正英

<p>昭和52年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 王選手世界新756号</li> <li>・ 有珠山爆発</li> <li>・ 日航ハイジャック事件（ダッカで身代金と釈放犯受け取り）</li> <li>・ 200海里時代へ</li> <li>・ 「ルーツ」流行語に</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <p>3・22 第十三回定期総会</p> <p>6・8 組織問題研究委員会をつくり青年部組織と今後のあり方を検討</p> <p>7・2 富山県高岡市農協青年部が視察</p> <p>7・28 市長立候補者に対する質問状提出</p> <p>7・30 農協総代選挙対策（総代代表、農家組合長に要請）</p> <p>9・1 アメリカのりんご事情視察に1名参加</p> <p>9・12 青年部から農協総代六十人が当選</p> <p>10・13 青年部総代連絡協議会総会</p> <p>10・26 日中友好長野県民の翼へ3人参加</p> <p>11月～1月 ヨーロッパ農業研修視察団員の募集</p> <p>5月～11月 盟友の営農実態調査を実施</p>
--	----------------	---

15代委員長 佐藤 英彦

<p>昭和53年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大平政権発足</li> <li>・ 成田新空港波乱の開港</li> <li>・ 日本世界一の長寿国に</li> <li>・ 江川巨人軍と「空白の一日」電撃契約</li> <li>・ サラ金地獄（自殺者多発）</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <p>3・16 第十四回定期総会</p> <p>4・17 青年部総代連絡協議会総会</p> <p>6月 青年部員登録カードの作成</p> <p>8・22 ヨーロッパ（生食ぶどう）農業研修視察（二十九名参加）</p> <p>9・10 農業青年交歓会</p> <p>11・18 静岡県菊川農協青年部との交流（農産物の即売、意見交換）</p> <p>2・2 農協青年友好の翼で三人が中国を訪問</p>
--	----------------	--

16代委員長 小林 英 征

<p>昭和54年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東名、日本坂トンネル事故</li> <li>・ 三菱銀行猟銃人質事件</li> <li>・ 東京サミット</li> <li>・ 木曾御岳山噴火</li> <li>・ 国立大の共通一次試験実施</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・19 第十五回定期総会</li> <li>4・17 青総連総会</li> <li>5・12 菌茸部きのこ研究会</li> <li>8・2 宮城県角田市農協と交流会</li> <li>10・26 第9回県青年部野球大会優勝</li> <li>1・29 理事会傍聴</li> <li>2・21 青年部酪農グループ設立</li> <li>2・24～3・4 アメリカ西海岸農業研修視察(五十四人参加)</li> <li>3・7 歴代委員長との懇談会</li> </ul>
--	----------------	---

17代委員長 春日 日 宏 一

<p>昭和55年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大平首相急死</li> <li>・ モスクワオリピック(西側諸国不参加)</li> <li>・ ジョン・レノン射殺される</li> <li>・ 富士見病院の乱診事件</li> <li>・ 長野市のOL誘拐と富山の女子高生殺人事件</li> <li>・ 山口百恵さん引退</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・18 第十六回定期総会</li> <li>5・23 中野商工青年会議との懇談会</li> <li>6・15 農畜産物消費拡大ステツカー運動</li> <li>7・10 畜産部先進地視察</li> <li>7・15 えのき茸栽培部員の台帳作成</li> <li>9・10 盟友の営農、青年部活動に關するアンケート調査</li> <li>10・7 青総連総会</li> <li>10・16 北信病院との健康管理懇談会</li> <li>11・11 農産物消費拡大の標語コンクール開催</li> <li>11・14 菊川農協青年部との姉妹提携協定締結</li> <li>11・15 農協祭かかしコンクール開催</li> <li>12・11 青年部組織活動実績発表</li> <li>12・11 東甲信越大会で優秀賞受賞(二りんご振興に取り組んで)</li> <li>2・4 北海道今金町農協青年部との交流</li> </ul>
---	----------------	--

18代委員長 田 尻 満州雄

<p>昭和56年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北炭夕張新鉱ガス惨事</li> <li>・ 神戸ポートピア、81開幕</li> <li>・ 福井教授にノーベル化学賞</li> <li>・ レーガン大統領就任</li> <li>・ チャールズ皇太子とダイアナ・スパンサー嬢挙式</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・17 第十七回定期総会</li> <li>8・4 アスパラガス収量調査</li> <li>8・7 菌茸部サマックッキング教室</li> <li>8・12 わい化栽培現地検討会</li> <li>8・18 青年部情報発行(年二回)</li> <li>8月 農業委員選挙対策</li> <li>9月下旬～10月上旬 固定資産税対策署名運動</li> <li>10・22～11・2 熊本県田浦農協青年部との交流及び研修受入れ(三人)</li> <li>11・5 青年部野球関東甲信越大会準優勝</li> <li>11・9～11・13 市場体験入学(きのこと、そさい関係二名参加) ※以降継続</li> <li>11・30～12・4 市場体験入学(果実関係五人参加)</li> <li>2・20～3・4 ニュージーランド農業研修視察(十九人参加)</li> <li>2・23 ライフサイクル研究会</li> </ul>
--	----------------	---

19代委員長 田 中 祐 治

<p>昭和57年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホテルニュージャパン火災惨事</li> <li>・ 羽田沖で日航機墜落</li> <li>・ 鈴木首相退陣、中曽根新内閣発足</li> <li>・ 東北、上越新幹線開業</li> <li>・ フォークランド紛争</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・16 第十八回定期総会</li> <li>3月下旬 各地区ビヤクシン類実態調査</li> <li>4・16 青総連総会</li> <li>7・16 菌茸部支部対抗ソフトボール大会</li> <li>7・29 豊田村農協青年部との交流会</li> <li>8月下旬 農業者年金について各支部学習会</li> <li>8・30 野菜花卉部、除草剤、トレンチャー、活性炭の現地検討会</li> <li>9・17 盟友への台風見舞、激励</li> <li>11・16 輸入自由化阻止立看板、国道292号線へたてる</li> <li>11・29 酪農青年部経営検討会</li> <li>12・6 土壌改良研修会</li> <li>2・4 青年部組織活動実績発表全国大会でNHK会長賞受賞</li> <li>3・5 青年部活動スライド完成</li> </ul>
--	----------------	--



20代委員長 阿 藤 博文

21代委員長 池 田 浩 久

22代委員長 黒 崎 森 夫

23代委員長 久 保 宣 仁

<p>昭和58年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田中元首相に実刑判決</li> <li>・ 大韓航空機墜撃事件</li> <li>・ 日本海中部地震、東北に被害</li> <li>・ 「おしん」ブームに</li> <li>・ 戸塚ヨットスクール事件</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・15 第十九回定期総会</li> <li>4・19 農協役員選出にあたり「ふさわしい人」のチラシ全戸配布</li> <li>4・26 ライフサイクル実施</li> <li>5・21 野菜菌茸市場担当者・生産部会との合同懇談会</li> <li>6・21～6・29 米価要求統一車りレーの替わりに署名旗作成</li> <li>7・24～8・2 アメリカ北西海岸農業研修視察（二十三名参加）</li> <li>8・27 第一回北信地区農協青年・婦人の農産物大奉仕市参加</li> <li>9・12 二十周年記念テーマ決定「未来への群翔」</li> <li>10・23 二十周年記念事業「わが郷土を空から見る会」実施</li> <li>11・12 農協祭参加 かかし「凧」コンクール</li> <li>2・14 二十周年記念大会</li> </ul>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p>
---	--	------------------------

<p>昭和59年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリコ・森永事件</li> <li>・ 新札発行</li> <li>・ 長野県西部地震</li> <li>・ サラエボ・ロサンゼルス五輪</li> <li>・ 植村直己、マッキンリーで消息絶つ</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・19 第二十回定期総会</li> <li>4・16 青総連総会</li> <li>5・4 生産部会との懇談会（第一回）</li> <li>6・22 一日管理職</li> <li>7・8 外来輸入阻止、日本の農業を守る農協青年婦人大会</li> <li>8・3 支部対抗ソフトボール大会</li> <li>10・5 青総連、理事代表者懇談会</li> <li>10・27 市理事者との懇談会</li> <li>11・17～11・18 農協祭参加（かかしコンクール）</li> <li>1・28 群馬県中之条青年部との交流</li> <li>1・28 農業委員会との懇談会</li> <li>2・6 農協労組との懇談会</li> </ul>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p>
---	--	------------------------

<p>昭和60年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日航ジャンボ機墜落</li> <li>・ 豊田商事、永野会長刺殺</li> <li>・ 阪神優勝、大ファイバー</li> <li>・ ロス疑惑、三浦逮捕</li> <li>・ 国鉄同時多発ゲリラ</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・18 第二十一回定期総会</li> <li>4・9 青総連総会</li> <li>5・17 生産部会との懇談会</li> <li>5・22～5・29 市場入学</li> <li>6・26 一日管理職</li> <li>7・18 第十五回ソフトボール大会</li> <li>10・14～10・19 熊本県田浦青年部実習受入れ</li> <li>11・27～12・3 市場入学</li> <li>1・10 営農体験発表大会</li> <li>1・24 農業委員との懇談会</li> <li>2・4 菊川青年部提携五周年祝賀会</li> <li>3・17 酪農青年部経営発表会</li> </ul>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p>
--	--	------------------------

<p>昭和61年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三原山、二百年ぶり大噴火</li> <li>・ 衆参同日選挙で自民党が空前の勝利</li> <li>・ 社会党に初の女性委員長（土井たか子氏）</li> <li>・ 英チャールズ皇太子、ダイアナ妃来日</li> <li>・ 歌手岡田有希子さん自殺</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・17 第二十二回定期総会</li> <li>4・18 青総連総会</li> <li>6・12 菌茸部ソフトボール大会</li> <li>7・29 第十六回ソフトボール大会</li> <li>・ 第一回綱引き大会</li> <li>8・8 きのごグルメフェア</li> <li>11・15～11・16 農協祭（もちつき、かかしコンクール）</li> <li>11・29 市理事者との懇談会</li> <li>12・23 青年部カルチャー資金要領制定</li> <li>1・12 営農体験発表大会</li> <li>1・26 農業委員との懇談会</li> <li>1・30 労働組合との交流懇談会</li> </ul>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p>
--	---	------------------------

24代委員長 田 中 順 造

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・13 第二十三回定期総会 3・20 売上税導入反対要請 3・23 中野市農業経営技術奨励賞表彰式 4・17 青総連総会 6・18 商工青年会議との話し合い(情報交換) 6・29 一日管理職 7・22～7・3 幹部研修会(小千谷市農協) 7・23 ソフトボール・綱引き大会 8・8 きのこと・アスパラガスグルメフェア(ダイエー) 8・19～8・30 アメリカ農業研修視察 12・1～12・7 市場入学 1・12 営農体験発表大会 3・10 中高農村婦人学校修了生との交流会</p>	<p>社会の主な動き</p> <p>昭和62年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹下新政権誕生</li> <li>・国鉄民営化、JRスタート</li> <li>・利根川進教授ノーベル賞受賞</li> <li>・石原裕次郎さん死去</li> <li>・NTT株フィーバー</li> </ul>
---	---

25代委員長 武 田 俊 道

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・15 第二十四回定期総会 4・18 青総連総会 5・24～5・29 春期流通研修 5・31 県中央会優良農協青年部表彰式 6・15 新型間接税学習会 6・20 農産物輸入阻止県大会 6・21 米市場開放阻止県大会 9・13 野立看板設置作業 10・11 青総連総会 10・13 第十八回野球ソフトボール県大会(ソフト優勝) 11・8 関東甲信越球技大会(ソフト出場) 11・18～11・20 菊川農協祭参加 11・29～12・5 秋期流通研修</p>	<p>社会の主な動き</p> <p>昭和63年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リクルート疑惑事件</li> <li>・潜水艦(なだしお)衝突、死者三十人</li> <li>・瀬戸大橋開通</li> <li>・青函トンネル開業</li> <li>・千代の富士五十三連勝</li> <li>・ソウル五輪、鈴木大地金メダル</li> </ul>
---	--

26代委員長 酒 井 規 雄

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・16 第二十五回定期総会 4・18 青総連総会 6・9 消費税学習会 6・12～6・14 新採用職員農業体験受入れ(第一回) 6・13 米市場開放阻止農協代表者会議 6・14 菌茸部支部交流ソフトボール大会 7・21 支部対抗ソフトボール・綱引き・靴けつとばし大会 8・4 グルメフェア実施 10・12 県青年部球技大会 1・10 営農体験発表大会 1・29～2・8 ニュージールランド、オーストラリア農業研修視察 2・16 活動実績発表全国大会(農林大臣賞受賞)</p>	<p>社会の主な動き</p> <p>平成元年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和天皇崩御、平成スタート</li> <li>・消費税実施</li> <li>・幼女殺害で宮崎勤容疑者逮捕</li> <li>・美空ひばりさん死去</li> <li>・宇野内閣退陣、海部新政権発足</li> </ul>
--	--

27代委員長 阿 部 敏 春

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・15 第二十六回定期総会 3・22 中高青年部協議会解散総会 4・16 北信青年部協議会設立総会 6・15 工機課との懇談会 6・28～6・29 菊川農協青年部姉妹提携十周年記念事業 7・27 一日管理職 8・3 グルメフェア 8・28 日本農業新聞普及推進大会 9・22 米市場開放絶対阻止長野県代表者決起集会 9・29 第一回フルーツフェア 9・29～9・30 県青協「遊農食」フェスティバル 11・16～11・18 菊川農協祭参加(同日中野市農協祭開催) 1・11 営農体験発表大会</p>	<p>社会の主な動き</p> <p>平成2年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼宮さま、紀子さまご結婚</li> <li>・秋山さん、日本人初の宇宙飛行</li> <li>・大阪で「花の万博」</li> <li>・イラク・クウェートへ侵攻</li> <li>・千代の富士史上初の通算一千勝</li> </ul>
--	---



28代委員長 阿藤 秀雄

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・15 第二十七回定期総会 6・24～6・26 新採用職員農業体験 7・1 米を守る緊急国民総決起大会(東京ドーム) 7・26 ソフトボール・綱引き大会 8・25～9・4 ヨーロッパ農業研修視察 10・17 青年部球技大会県大会野球優勝(11・6 関東甲信越大会出場) 10・19～10・20 韓国「新農民」海外研修ホームステイ受入れ 10・22 第一回青年部ゴルフ大会 11・16～11・17 中野市農協祭、菊川農協祭 12・6 宮城県栗原郡農協青年部と懇談会 12・11～1・17 明治大学農学部実習生受入れ 2・19 北青協スキー大会</p> <p>社会の主な動き</p> <p>平成3年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普賢岳で火砕流</li> <li>・「若貴ブーム」</li> <li>・四大証券、巨額損失補填</li> <li>・信楽鉄道事故、四十二人死亡</li> <li>・ペルシャ湾に掃海艇を派遣</li> </ul>	
--	--

29代委員長 丸山 栄一

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・12 第二十八回定期総会 4・20 青総連総会 5・26～5・30 流通研修 7・10 一日管理職 7・17 ソフトボール・綱引き大会 9・5 第三回フルーツフェア 9・17 青年部菌茸部と菌茸担当職員との懇談会 9・21 農業委員との懇談会 11・14～11・15 J Aまつり(中野市) 11・21～11・22 菊川夢咲フェスティバル 12・9 市議会傍聴 12・22 いいやまみゆき青年部と懇談会 1・12 営農体験発表大会</p> <p>社会の主な動き</p> <p>平成4年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川献金疑惑で金丸氏議員辞職、政局混迷</li> <li>・PKO協立法成立、カンボジアへ派遣</li> <li>・毛利さん、日本人初のスペースシャトル飛行士</li> <li>・アルベールビル、バルセロナ五輪・暴力団対策法を施行</li> </ul>	
---	--

30代委員長 土屋 金治

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・15 第二十九回定期総会 4・19 青総連総会 6・2 菌茸部支部交流スポーツ大会 6・8～6・11 新採用職員農業体験 6・14～6・18 流通研修 7・8 一日管理職 7・16 支部対抗ソフトボール・綱引き大会 7・30 グルメフェア 8・22～9・3 アメリカ東海岸農業研修視察 9・8 日本農業新聞普及推進大会 9・10 フルーツフェア 10・6 青総連総会 10・16 県青協球技大会(ソフト出場・平岡支部) 10・20 第三回ゴルフ大会 11・13 遠州夢咲青年部と友好姉妹提携調印 1・12 営農体験発表大会 1・28 市理事者との懇談会 2・17 青年部設立三十周年記念大会</p> <p>社会の主な動き</p> <p>平成5年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皇太子様と小和田雅子さんの「結婚の儀」が行われる</li> <li>・「Jリーグ」が開幕</li> <li>・土井たか子社会党元委員長が女性初の衆議院議長に</li> <li>・首都高速「レインボーブリッジ」が開通</li> </ul>	
---	--

31代委員長 田尻 嘉春

<p>JA中野市青年部の主な活動</p> <p>3・15 第三十回定期総会 4・18 青総連総会 5・23～5・27 流通研修 6・2 菌茸部支部交流スポーツ大会 6・8～6・10 新採用職員農業体験 7・7 一日管理職 7・15 支部対抗ソフトボール・綱引き大会 7・29 グルメフェア 8・24 市理事者との懇談会 9・3 フルーツフェア 10・4 県青協球技大会(ソフト出場・平岡支部) 10・7 青総連総会 10・21 第四回ゴルフ大会 11・7～11・11 流通研修 11・12～11・13 J Aまつり 11・18～11・20 遠州夢咲フェスティバル 1・12 営農体験発表大会</p> <p>社会の主な動き</p> <p>平成6年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リレハンメル冬季オリンピック開催</li> <li>・松本サリン事件</li> <li>・向井千秋さんスペースシャトルに搭乗</li> </ul>	
--	--

32代委員長 横田 明彦

J A 中野市青年部の主な活動	3・15 第三十一回定期総会 4・18 青総連総会 6・2 菌茸部支部交流スポーツ大会 6・12～6・15 流通研修 6・13～6・15 新採用職員農業体験 6・16 J A 須高青年部との交流会 7・26 一日管理職 7・29 市民祭お祭り広場参加 8・8 グルメフェア 8・28 支部対抗ソフトボール・綱引き大会 9・1 理事者との懇談会 9・26 県青協球技大会(ソフト・野球出場←平岡支部) 10・11 第五回ゴルフ大会 10・13 青総連総会 10・28 フルーツフェア 11・6～11・10 流通研修 11・11～11・12 J A まつり 11・17～11・19 遠州夢咲フェスティバル 1・25 営農体験発表大会
社会の主な動き	平成7年 ・ 阪神・淡路大震災 ・ 地下鉄サリン事件 ・ 新食管法スタート、米の生産・流通・販売が原則自由 ・ 野茂投手、米大リーグで新人王

33代委員長 丸山 和広

J A 中野市青年部の主な活動	3・12 第三十二回定期総会 4・19 青総連総会 4・20～4・21 「オランチェ」オープンイベント参加 6・12～6・14 新採用職員農業体験 6・19 菌茸交流スポーツ大会 6・25 J A 須高青年部との交流会 7・8 一日管理職 7・26 支部対抗ソフトボール大会 7・27 市民祭お祭り広場参加 8・28 理事者との懇談会 9・26 県青協球技大会 10・11 青総連総会 10・22 第六回ゴルフ大会 10・26～10・27 フルーツフェア・グルメフェア 11・5～11・9 流通研修 11・9～11・10 J A まつり 11・15～11・17 遠州夢咲フェスティバル 12・20 主要生産部会長との懇談会 1・29 営農体験発表大会 2・13 歴代委員長OB会
社会の主な動き	平成8年 ・ O-157食中毒 ・ たまごっちがブーム ・ メイクドラマで長嶋巨人優勝 ・ 薬害エイズ和解

34代委員長 小根沢 勝

J A 中野市青年部の主な活動	3・12 第三十三回定期総会 4・18 青総連総会 5・3 グルメフェア 7・4 一日管理職 7・4 J A 理事者との懇談会 7・7～7・10 市場流通研修 7・11 支部対抗ソフトボール大会 7・26 市民祭お祭り広場参加 8・7 J A 須高青年部との交流会 8・8 菌茸交流スポーツ大会 8・8 理事者との懇談会 9・10 主要生産部会長との懇談会 10・14 青総連総会 10・22 第七回ゴルフ大会 11・4～11・7 市場流通研修 11・15～11・16 J A まつり 11・15～11・16 遠州夢咲フェスティバル 1・30 営農体験発表大会 2・8～2・21 オリピック消費宣伝会 2・13 歴代委員長OB会
社会の主な動き	平成9年 ・ 神戸小学生連続殺傷事件 ・ ペルー大使館武力突入 ・ 失樂園がヒット

35代委員長 池田 稔

J A 中野市青年部の主な活動	3・11 第三十四回定期総会 4・20 青総連総会 6・17 菌茸交流スポーツ大会 7・3 一日管理職 7・3 J A 役員との懇談会 7・24 支部対抗ソフトボール大会 7・25 市民祭お祭り広場参加 7・31 J A 須高・志賀高原青年部との交流会 7・31～8・3 果実市場流通研修 8・3～8・5 菌茸市場流通研修 10・3～10・4 グルメフェア・フルーツフェア 10・9 青総連総会 10・22 第八回ゴルフ大会 11・5～11・6 関東甲信越親善球技大会出場 11・20 市長との懇談会 11・21～11・22 遠州夢咲フェスティバル 12・15～12・30 きのみアクリン運動実態調査 1・29 営農体験発表大会 2・1～2・15 きのみアクリン運動第二次実態調査 2・16 歴代委員長OB会
社会の主な動き	平成10年 ・ 横浜ベイスターズ優勝ファイバー ・ 和歌山カレー事件 ・ 長野オリンピック開催

36代委員長 中村 秀人

<p>平成11年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんご3兄弟大人気</li> <li>・東海村の臨界事故</li> <li>・神奈川県警の相次ぐ不祥事</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・11 第三十五回定期総会</li> <li>4・20 青総連総会</li> <li>6・25 菌茸交流スポーツ大会</li> <li>6・30 青年部盟友全体緊急討論会</li> <li>7・15 一日管理職</li> <li>7・15 J A 役員との懇談会</li> <li>7・22 支部対抗ソフトボール大会</li> <li>7・24 市民祭お祭り広場参加</li> <li>7・30 J A 須高・志賀高原青年部との交流会</li> <li>9・24 第一回臨時総会</li> <li>10・2 J A まつり、グルメフェア、フルーツフェア</li> <li>10・22 第九回ゴルフ大会</li> <li>10・26 主要生産部会長との懇談会</li> <li>11・2 J A 果樹市場流通研修</li> <li>11・2 市理事者との懇談会</li> <li>11・20 J A 遠州夢咲フェスティバル</li> <li>11・21 遠州夢咲フェスティバル</li> <li>1・28 営農体験発表大会</li> </ul>
---	----------------	--

37代委員長 藤沢 学

<p>平成12年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高橋尚子フィーバー</li> <li>・三宅島噴火</li> <li>・IT革命</li> <li>・17歳少年によるバスジャック</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・8 第三十六期決算総会</li> <li>3・29 第三十七期予算総会</li> <li>4・27 青総連総会</li> <li>6・9 生産部スポーツ交流大会</li> <li>7・9 J A 市場流通研修</li> <li>7・18 J A 役員との懇談会</li> <li>7・22 市民祭お祭り広場参加</li> <li>7・27 支部対抗ソフトボール大会</li> <li>8・4 J A 青年部交流会</li> <li>8・11 ゴルフ同好会設立検討会議</li> <li>10・13 青総連総会</li> <li>10・28 J A まつり</li> <li>10・28 J A まつり、グルメ・フルーツフェア</li> <li>11・10 第一回ゴルフ同好会ゴルフ大会</li> <li>11・17 J A 遠州夢咲フェスティバル</li> <li>11・19 遠州夢咲フェスティバル</li> <li>11・29 市長との懇談会</li> <li>12・5 J A 女性部との懇談会</li> <li>1・26 営農体験発表大会</li> <li>2・7 中野青年会議所との交流会</li> <li>2・8 歴代委員長OB会</li> </ul>
---	----------------	--

38代委員長 小林 豊

<p>平成13年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチロー、大リーグで首位打者</li> <li>・日本初BSE狂牛病が認定される</li> <li>・大阪・池田小学校の乱入殺傷事件</li> <li>・小泉語録ブーム</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・9 第三十七期決算総会</li> <li>4・3 第三十八期予算総会</li> <li>4・18 第二回ゴルフ同好会ゴルフ大会</li> <li>4・30 グルメフルーツフェア(年7回開催)</li> <li>5・10 青総連総会</li> <li>6・6 J A 志賀高原青年部との交流会</li> <li>7・4 J A 役員との懇談会</li> <li>7・13 農政文教部スポーツ大会</li> <li>7・25 4 J A 青年部交流会(須高、志賀高原、北信州みゆき)</li> <li>8・4 市民祭お祭り広場参加</li> <li>10・5 北信ブロック青年部交流会</li> <li>10・12 青総連総会</li> <li>10・16 関東甲信越地区親睦球技大会(野球の部)</li> <li>10・27 J A まつり</li> <li>11・7 県青協50周年式典</li> <li>11・7 市場流通研修</li> <li>11・7 J A 市場流通研修</li> <li>11・17 遠州夢咲フェスティバル</li> <li>11・30 主要生産部会長との懇談会</li> <li>1・25 営農体験発表大会</li> <li>2・13 歴代委員長OB会</li> </ul>
--	----------------	---

39代委員長 池田 新一

<p>平成14年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アザラシのタマちゃんブーム</li> <li>・ワールドカップサッカーの日韩共催</li> <li>・小中学校で総合学習導入</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・12 第三十八回定期総会</li> <li>5・17 青総連総会</li> <li>5・19 グルメ・フルーツフェア(年7回開催)</li> <li>6・1 J A 一本木公園はらまつり消費宣伝会</li> <li>6・19 J A 志賀高原青年部との交流会</li> <li>6・25 J A 技術員との懇談会</li> <li>7・11 東北信ブロック青年部交流会</li> <li>7・18 J A 役員との懇談会</li> <li>7・30 パソコン教室(年2回)</li> <li>8・9 遊休荒廃農地対策事業「そばの種まき」</li> <li>9・6 市場流通研修</li> <li>10・5 秋のバフとぶどうまつり参加</li> <li>10・10 青総連総会</li> <li>10・17 関東甲信越地区親睦球技大会(野球の部)</li> <li>10・23 主要生産部会長との懇談会</li> <li>10・26 信州中野フェスタ</li> <li>11・9 J A まつり</li> <li>11・16 遠州夢咲フェスティバル</li> <li>11・21 4 J A 青年部交流会(須高、志賀高原、北信州みゆき)</li> <li>1・22 市長との懇談会</li> <li>1・31 第二十六回営農体験発表大会</li> <li>2・4 歴代委員長OB会</li> </ul>
--	----------------	--

40代委員長 畔 上 慶 一

平成15年 ・十年ぶりの冷夏 ・アメリカ産牛肉の輸入禁止 ・SARS大流行 ・第二次小泉内閣発足	社会の主な動き	3・11 第三十九回定期総会 5・14 青年部総代連絡協議会 5・25 グルメフルーツフェア 5・31 一本木公園バラ祭り 6・27 開葯事業反省会及び J A技術員、販売員との懇談会 7・26 第三十回シヨシヨシ祭 8・3 J A中野市青年部四十周年記念大会 8・21 J A役員との懇談会 9・4 市場流通研修(5日) 10・7 青年部総代連絡協議会 10・10 信越放送「Uパレード」出演 10・11 たべごろ信州中野フェスタ(12日) 11・15 J Aまつり(16日) 11・22 J A遠州夢咲フェスティバル 11・28 北信4 J A青年部交流会 1・23 第二十七回営農体験発表 1・29 中野市食農フォーラム 2・3 歴代委員長OB会
--	---------	--

41代委員長 浅 沼 正 勝

平成16年 ・鳥インフルエンザ発生 ・スマトラ島沖地震 ・牛肉トレーサビリティ法が全国で施行 ・新潟中越沖地震 ・アテネオリンピック開催 ・イチロー選手がMLBシーズン最多安打を八十四年ぶりに更新	社会の主な動き	3・11 第四十回定期総会 4・6 青年部総代連絡協議会 5・29 一本木公園バラ祭り 7・7 北信4 J A青年部交流会 7・12 中野市長との懇談会 7・16 球技大会 7・24 第三十一回シヨシヨシ祭 8・7 そば種まき 8・25 J A役員との懇談会 9・2 市場流通研修(3日) 9・30 秋の信州ぐるっとグルメ旅収録 11・13 J Aまつり(14日) 11・19 J A遠州夢咲フェスティバル 12・7 関東甲信地区活動実績発表 12・18 クリスマスパティー 12・21 新潟中越地震ボランティア 1・4 わがまま気まま旅気分(五冬) 1・28 第二十八回営農体験発表 2・3 歴代委員長OB会 2・26 SOきのこ汁 配布ボランティア
--	---------	---

42代委員長 藤 沢 渡

平成17年 ・愛知万博開催 ・京都議定書施行 ・第3次小泉内閣発足 ・JR福知山線脱線事故	社会の主な動き	3・16 第四十一回定期総会 3・20 市町村合併ブレイクイベント 5・20 畔上慶一氏県青協会長就任 5・28 祝い 6・1 一本木公園バラ祭り 6・15 球技大会 6・15 ゴルフ同好会コンペ 6・21 開葯反省会及び技術員との懇談会 6・25 中野市併合記念式典 7・6 北信4 J A青年部交流会 7・24 第一回シヨシヨシ祭り 8・6 小学生とのそば種まき(長丘小) 8・28 高社ブロック グルメフルーツフェア 9・6 台湾農業研修視察(10日) 9・8 新市誕生元気まつり 10・8 青年部総代連絡協議会 10・12 J Aまつり・遠州夢咲との交流会 11・12 J A遠州夢咲フェスティバル 11・26 クリスマスパティー 12・18 第二十九回営農体験発表 2・9 歴代委員長OB会 2・20 県青協除雪ボランティア交流会
---	---------	---

43代委員長 武 田 政 志

平成18年 ・サッカーワールドカップドイツ大会 ・安倍内閣発足 ・長野県知事選挙 ・トリノオリンピック開催 ・地上波デジタルテレビ全国で放送開始	社会の主な動き	3・17 第四十二回定期総会 5・31 球技大会 6・8 SBC Uパレード出演 6・10 一本木公園バラ祭り 6・21 ゴルフ同好会コンペ 6・27 開葯反省会・技術員との懇談会 7・22 第二回シヨシヨシ祭 8・5 そば種まき 長丘小及びサマージャンボリー 8・25 市場流通研修(26日) 9・2 災害ボランティア活動 9・9 イオン、全農長野きのこ収穫体験及び料理教室 9・12 県青協球技大会 9・13 J A役員・部長との懇談会 9・13 J Aまつり(12日) 11・11 J A遠州夢咲フェスティバル 11・25 関東甲信地区青年の主張発表 12・6 北信4 J A青年部交流会 1・10 中野市長・市職員との交流会 1・23 第三十回営農体験発表 2・15 J A全国青年大会青年の主張発表 2・21 歴代委員長OB会
---	---------	--



44代委員長 高橋 真一郎

平成19年 ・日中政府、日本から中国への米輸出再開に合意 ・中国製餃子による食中毒問題発生 ・参議院選挙実施。民主党が第一党に ・福田内閣発足。若林正俊議員が農相就任	社会の主な動き	2・25	歴代委員長OB会
		2・14	行政との懇談会
		2・1	第三十一回営農体験発表会
		1・16	北信4 J A 青年部交流会
		12・25	そば打ち体験(平岡小)
		11・23	J A 遠州夢咲フェスティバル
		11・10	J A まつり(11日)
		10・12	青年部総代連絡協議会
		8・6	そばまき(平岡小)
		8・4	信州中野ふるさと体験塾
		7・31	市場流通研修(8月1日)
		7・22	第三回シヨシヨシ祭り(17日)
		6・16	新潟県中越沖地震ボランティア
		7・6	ゴルフ同好会コンペ
		6・26	開葯反省会及び技術員との懇談会
		5・9	一本木公園バラ祭り
		5・31	球技大会(計4回受賞)
		4・27	遊休荒地復活大賞
		3・14	第四十三回定期総会

45代委員長 田尻 裕之

平成20年 ・北京オリンピック開催 ・日本人四人目のノーベル賞受賞 ・黒人として初めてアメリカ合衆国大統領にバラク・オバマ氏が就任	社会の主な動き	2・24	歴代委員長OB会
		2・17	全国青年大会
		2・3	第三十一回営農体験発表会
		1・16	北信4 J A 青年部交流会
		12・12	そば収穫祭
		12・6	J A 遠州夢咲フェスティバル
		11・15	J A まつり(16日)
		10・8	青年部総代連絡協議会
		9・12	県青協球技大会
		8・2	信州中野ふるさと体験塾
		7・31	市場流通研修(8月1日)
		7・26	第四回シヨシヨシ祭り
		6・7	一本木公園バラ祭り
		5・30	球技大会
		5・13	青年部総代連絡協議会
		4・7	食と農の共生に向けたアピール活動
		3・28	ゴルフ同好会コンペ
		3・13	第四十四回定期総会

46代委員長 山本 淳一

平成21年 ・裁判員制度施行 ・バンクーバーオリンピック開催 ・マイケルジャクソン氏死去	社会の主な動き	2・16	J A 全国青年大会活動実績発表
		2・5	第三十二回営農体験発表会
		12・12	Sweetsな出会い
		11・27	J A 遠州夢咲フェスティバル
		11・22	中野青年会議所・J A 中野市青年部交流会
		11・14	J A まつり(15日)
		7・30	市場流通研修(31日)
		7・22	第五回シヨシヨシ祭り
		7・18	長野県青年の日アピール活動
		6・29	市長及び行政とJ A 青年部との懇談会
		6・24	開葯反省会および給食センターとの懇談会
		6・6	一本木公園バラ祭り
		6・2	J A 中野市合併四十五周年式典
		5・29	球技大会
		5・20	青年部総代連絡協議会
		5・19	高橋真一郎氏県青協会会長就任祝い
		5・8	コンテナPR文字作成
		5・7	とうもろこし種まき
		3・19	第四十五回定期総会

47代委員長 原 栄二

平成22年 ・上海万博 ・南アフリカワールドカップ開催 ・東日本大震災 ・長野県北部地震	社会の主な動き	2・24	歴代委員長OB会
		2・3	第三十四回営農体験発表会
		12・9	信越大会
		11・27	J A 遠州夢咲フェスティバル
		11・13	J A まつり(14日)
		11・1	T P P 参加反対集会
		9・9	県青協球技大会
		8・1	そば播き
		7・31	第六回シヨシヨシ祭り
		7・28	夏休み子ども村 とうもろこし収穫体験
		6・23	開葯反省会及び技術員・販売員との懇談会
		6・12	祝いのローズタウン二〇一〇(13日)
		6・3	田尻裕之氏県青協会会長就任祝い
		5・28	球技大会
		5・16	とうもろこし定植
		5・2	Sweetsな出会い(年間6回実施)
		4・15	とうもろこし種まき
		3・31	西町雛市みこし担ぎ
		3・19	第四十六回定期総会

48代委員長 永 沢 誠 一

J A 中野市青年部の主な活動

3・31	第四十七回定期総会
3・31	西町雛市みこし担ぎ
4・14	定植用とうもろこし種まき
5・26	国際協力田植え
5・27	コンテナPR文字作成
6・3	球技大会
6・11	なかのローズタウン二〇一一 (5/12日)
7・13	ゴルフ同好会コンペ
7・20	県青協六十周年記念大会
7・25	市場流通研修(5/26日)
9・4	Sweetsな出会い 二〇一一
9・23	若林健太参議院議員との意見交換会
9・25	グランセローズカップきのこ汁ふるまい
10・7	中野市若手職員との懇談会
10・29	J A 中野市 T P P 交渉反対集会
11・12	J A まつり(5/13日)
11・15	全国担い手サミット 長野 T P P 学習会
12・15	北信地区 4 J A 交流会
1・20	第三十五回営農体験発表
2・3	歴代委員長 O B 会
2・23	歴代委員長 O B 会

社会の主な動き

平成23年

- ・サッカーワールドカップ女子「なでしこジャパン」初優勝
- ・野田内閣発足
- ・新潟県及び福島県大豪雨

49代委員長 高 橋 直 樹

J A 中野市青年部の主な活動

3・16	第四十八回定期総会
3・31	西町雛市みこし担ぎ
4・16	定植用とうもろこし種まき
5・2	コンテナPR文字作成
5・10	とうもろこし定植①
5・19	とうもろこし定植②
6・1	球技大会
6・9	なかのローズタウン二〇一二 (5/10日)
6・9	グルメフルーツフェア (年6回開催)
6・28	開葯反省会及び生産部会・技術員・販売員との懇談会
7・13	J A 若手職員と青年部若手盟友との懇談会
7・16	市内学校給食へとうもろこし出荷
7・31	第八回シヨンシヨン祭り
8・10	そば播き
9・6	信州中野いきいき館リニュー
9・10	アルオーブンセレモニー
11・10	J A まつり(5/11日)
11・16	J A 遠州夢咲フェスティバル
1・25	北信 4 J A 交流会
2・1	第三十六回営農体験発表
2・23	Sweetsな出会い二〇一二
2・27	歴代委員長 O B 会

社会の主な動き

平成24年

- ・記録的な円高が日本経済を揺るがす
- ・ロンドンオリンピック開催。日本メダル三十八個と大躍進
- ・尖閣諸島国有化





## J A 中野市青年部 60周年記念によせて

50代委員長 宮澤 悟

この度は、J A中野市青年部60周年を迎えられ、誠におめでとうございます。これは、諸先輩方をはじめ、現役盟友の皆様、関係各位の日々のご尽力の成果であり、心から感謝を申し上げます。現執行部、盟友の皆様は、近年のコロナ禍などの理由で、青年部活動が困難であったと推察されます。しかし、最近はコロナ禍も落ち着き、社会活動も回復しつつあります。健康には留意され、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

さて、平成25年度は、発足50周年の節目であり、皆様のご支援により記念事業、記念式典を開催することができました。就任当初は、前年度から準備をしてきたとはいえ、具体的な事業内容が固まっておらず、実行できるか不安でした。しかし、当時の本部役員、各支部長、盟友、事務局の皆様のご協力のおかげで、無事に事業、式典を執り行うことができました。また、歴代OBの皆様には、物心両面にわたるご支援をいただきました。皆様には、本当にご苦労頂き、重ねて御礼申し上げます。

私は、このような活動を通じて、問題を一人で抱え込まない大切さを学べたと思います。準備のために何度も会議を開き、課題を議論し共有することで、物事が進み精神的な負担も軽くなりました。一人で抱え込んでいたらとても事業を遂行できなかったでしょう。皆様に、改めて御礼申し上げます。

農業経営は、毎日が判断の連続であり、問題を個人で抱え込みやすい傾向があるのではないかと実感しています。なので、同世代の農業者同士が交流できる青年部は、各自の課題や問題を議論できる貴重な場だと思います。互いに切磋琢磨し、中野市農業を盛り上げてまいりましょう。

最後に、今後の皆様の益々のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。60周年、誠におめでとうございます。

<p>平成25年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安倍政権の経済政策「アベノミクス」始動</li> <li>・特定秘密保護法が成立</li> <li>・日本が環太平洋連携協定（TPP）交渉に参加</li> <li>・富士山が世界文化遺産に登録</li> </ul>	<p>社会の主な動き</p>	21111010	10109988	8777	776	64433	<p>J A 中野市青年部の主な活動</p>
		1230151312	551342824	7312725	15415	517163121	
		<p>青年部設立50周年「青空市」青年部設立50周年記念式典</p> <p>遠州夢咲フェスティバル第三十六回営農体験発表大会</p> <p>第六十回J A全国青年大会（13日）</p>	<p>J A 遠州夢咲青年部・女性部との交流会</p> <p>J Aまつり（56日）</p> <p>T P P 学習会</p> <p>県青協球技大会</p> <p>四J A交流会</p> <p>信州たから市</p> <p>ンペ</p>	<p>J A 青年部ゴルフ同好会</p> <p>市場流通研修（8月1日）</p> <p>市青協親睦交流会</p> <p>シオンシオンまつり</p> <p>へ出荷</p> <p>開葯反省会</p> <p>なかのローズタウン二〇一三</p> <p>とうもろこし市内学校給食</p>	<p>青年部球技大会</p> <p>コンテナ文字作成</p> <p>定植用とうもろこし種まき</p> <p>西町雛市みこし担ぎ</p> <p>第四十八回定期総会</p>		



# J A 中野市青年部 60周年記念によせて

51代委員長 土屋 雄 一

J A 中野市青年部設立60周年おめでとうございます。青年部に入会した当時、私の身体も心も20代中盤の血気盛んな状態でした。しかしながら、所属支部の先輩・後輩のみならず、普段は出会うことの少ない他支部の盟友や、J A職員との交流によって常にお酒を酌み交わすことが多くなり、数年たった時の私の体は悲鳴をあげていました。いつの間にか「痛風」「高血圧」「高脂血症」という疾患トリプルスリーになったのは、青年部のおかげだと思っております。青年部交流から農家のノウハウや人生観を教えていただいた思い出は今でも感謝しかありません。今となっても農家仲間と酒を飲むたびに家内から冷ややかな目を向けられていますが、現在でも飲むことを「仕事」だとねじ伏せております。そのため、この身体になったことを名誉の負傷と思っております。

この青年部で自分自身が年齢を重ねていく度に、色々なことに興味や期待で楽しいことが大半であると同時に、多くの失敗や挫折といった反省が今でも思うこともあります。このような酸いも甘いもの経験を積めるのも、J A 中野市青年部が他組織から一目置かれる位の組織だからだと思います。是非今後もコロナ明けの日常的な事業だけでなく、時流の激しいSNS等の利活用や他業種の交流を含め非日常的な様々な事業を展開し、攻めた青年部を期待しております。

青年部70周年、80周年と今後も楽しみながら盟友同士で楽しく酒を酌み交わす日々が続くことを祈念しております。J A 中野市青年部万歳。

平成26年	社会の主な動き	J A 中野市青年部の主な活動
・ 御岳山が噴火	20 全青協六十周年記念式典	3 第五十回定期総会
・ テニスの錦織圭、全米準優勝	19 第三十八回営農体験発表大会	3 西町雛市みこし担ぎ
・ S T A P 細胞論文に捏造や改ざん	11 Sweet'sな出会(二〇一四)	4 定植用とうもろこし種まき
・ 解釈改憲で集団的自衛権容認	11 遠州夢咲フェスティバル	5 コンテナ文字作成
	10 J A 遠州夢咲青年部・女性部との交流会	5 とうもろこし定植
	10 J A まつり(12日)	6 青年部球技大会
	9 県青協球技大会	6 青年部球技大会(ソフトボール)
	8 市場流通研修(7日)	6 なかのローズタウン二〇一四(15日)
	8 県青協親睦交流会	7 青年部ゴルフ同好会コンペ
	7 ションションまつり	7 学校給食用とうもろこし収穫(22日市内小中学校へ)



## J A 中野市青年部 60周年記念によせて

52代委員長 小野 豊 一

この度は、J A 中野市青年部60周年、誠にめでとうございます。この歴史の中で、多くの盟友と共に活動できた事を光栄に思います。

私は35歳で就農し、すぐに青年部に誘っていただきました。

2年目からは生産部員として本部事業に携わり、そこからは、あれよあれよという間に委員長まで務めさせていただきました。委員長は大変そうだと思っていましたが、心のどこかにやってみみたい気持ちがありました。歴代の委員長の背中を追いたいと思ったからです。

おかげで多くの人と知り合いになれた事は、何よりの宝物です。

失敗を恐れず何事にもチャレンジ精神で、刻々と変わる世の中、減少している盟友等、様々な問題がありますが、60年乗り越えてきた青年部です。現役盟友の皆さんには、青年部綱領を胸に、益々の発展とご活躍を期待しております。60周年誠にめでとうございます。

平成27年	24	26	27	11	10	10	9	9	8	7	7	7	7	6	5	5	5	5	4	3	3	J A 中野市青年部の主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全保障関連法案が可決</li> <li>北陸新幹線が開通</li> <li>マイナンバー制度がスタート</li> <li>スマートウォッチ</li> </ul> 「Apple Watch」発売	青年部営農研修会 第六十二回 J A 全国青年大会 歴代委員長 O B 会	遠州夢咲フェスティバル (15日)	J A 遠州夢咲青年部・女性 部との交流会	J A まつり (11日)	信州 SOUTI 一五	うまいもと地酒 県青協球技大会	市場流通研修 (5日)	青年部ゴルフ同好会コンペ	ションションまつり	ションションまつり	県青協親睦交流会	学校給食用とうもろこし収穫	なかのローズタウン二〇一五	青年部球技大会 (ソフトボール)	コンテナ文字作成	前町大縁日」出店 (24日)	善光寺御開帳「日本一の門	とうもろこし定植	とうもろこし播種作業	西町雛市みこし担ぎ	第五十一回定期総会	51 13



# JA中野市青年部 60周年記念によせて

53代委員長 竹内 智昭

JA中野市青年部53代委員長を務めました竹内智昭です。

JA中野市青年部60周年記念大会を迎えるにあたり、青年部の先輩として、皆様にお祝いと激励のメッセージを送りたいと思います。

私自身、委員長を務めた経験から、JA中野市青年部の素晴らしさを深く感じています。青年部は、地域と農業を支える存在として、多くの若者たちが集い、力を合わせて取り組んでいます。その成果は、地域の発展や食糧安定に大きく貢献しています。

今回の60周年記念大会は、そのような青年部の歴史や功績を振り返るとともに、今後の発展に向けての新たな一歩となるでしょう。私たちは、青年部が更なる成長を遂げ、一層発展することを期待しています。皆様にとっても、この記念すべき年が、輝かしい一年となることを願っております。青年部のみなさん、おめでとうございます。

Chat GPTに上の文章を書いてもらえる時代になりました。また、50周年の時も支部長を務め、今年度60周年の時も支部長を務めているこんな時代になりました。

しかし、我々の一次産業はAIではできません。自分が委員長を務めた時のスローガン

「All work is for delicious beer!!」

これからも青年部らしく、美味しいビールのためにたくさん語りながら、一緒に地域の産業を守っていただければと思います。

平成28年 ・米大統領選でトランプ氏勝利 ・英国がEU離脱決定 ・日銀がマイナス金利を初導入 ・相模原市の知的障害者施設で十 九人殺害	社会の主な動き	2	2	2	2	11	11	10	10	10	8	7	7	7	7	6	6	5	5	5	4	3	3	JA中野市青年部の主な活動			
		28	14	2	1	20	1	15	8	8	2	27	27	23	20	11	30	11	20	16	11	22	31		17		
		歴代委員長OB会	第六十二回JA全国青年大会	青年の主張発表大会	四地区JA青年部交流会	JA女性部二十周年記念大会	遠州夢咲フェスティバル	信州中野おごっそフェア	JA遠州夢咲青年部・女性部との交流会	JAまつり(9日)	創立五十周年記念式典	信州中野商工会議所青年部	Sweetsな出会(20-16)	じゃがいも出荷・慰労会	シヨンシヨンまつり	じゃがいも収穫	市場流通研修(12日)	開約事業反省会	二十周年感謝祭(12日)	農産物産館「オランチェ」	(ソフトボール)	青年部球技大会	コンテナ文字作成	青年部ゴルフ同好会コンペ	じゃがいも定植	西町雛市みこし担ぎ	第五十二回定期総会



## JA中野市青年部 60周年記念によせて

54代委員長 浅 沼 一 明

JA中野市青年部60周年おめでとうございます。

私は25歳の時に就農し、JA中野市青年部に入りました。農業のことは何も分からなかった自分が農業を続けてこられたのも、青年部の先輩方に優しく、厳しく教えて頂いたからだと感謝しています。

青年部に長く在籍させて頂き、委員長まで務めさせて頂いたおかげでたくさんの盟友と話すことが出来ましたし、JA職員や行政、他県の青年部員、他業種の組織の方と出会い様々な考えに触れられた事が大きかったと思います。

たくさんの出会いの中でも一番心に残っていることは、青年部に入って間もない頃にある先輩に言われた「遊べ!」という言葉です。真意は今も深く理解できていないと思うのですが、そう言ってくれた先輩がただただかっこよくて何年たっても心に刺さっています。自分もいつかそんなことを若い方に言えるようになりたいと思わせてくれました。

これから先もJA中野市青年部が多くの方と出会える場であって頂ければと願っています。

JA中野市青年部の主な活動	社会の主な動き
3 17 第三十三回定期総会	平成29年
5 16 コンテナ文字作成	・天皇退位 2019年4月末に
5 19 青年部球技大会 (ソフトボール)	・藤井聡太四段が二十九連勝の新記録
5 29 杉浦太陽とのBBQ交流会	・陸上百メートル走 桐生祥秀選
6 2 開葯事業反省会	・手日本人の初の九秒台
7 14 県青協親睦交流会	・上野動物園でパンダ誕生
7 22 「青年の日」	
7 31 市場流通研修(8月1日)	
8 4 青年部ゴルフ同好会コンペ	
8 31 県青協球技大会	
10 7 JAまつり(8日)	
10 7 JA遠州夢咲青年部・女性部との交流会	
10 14 信州中野おごっこフェア	
11 18 遠州夢咲フェスティバル	
12 14 青年の主張関東甲信越大会	
1 19 JA若手職員との交流会	
2 3 Sweet'sな出会い1018	
2 14 歴代委員長OB会	
2 26 第六十四回JA全国青年大会	
	(27日)





## JA中野市青年部 60周年記念によせて

55代委員長 豊田清士

立場は人をつくると言いますが、委員長という立場のおかげで貴重な経験を多くさせて頂き、とても成長する事が出来ました。委員長という役を任せて頂いた事を心から感謝します。

組合長や市長と同席する機会は多く、何度も膝を突き合わせて談義させて頂きました。国会議員とメールでのやり取りや、関東農政局やJA全農長野との意見交換会など、当時の日記を開いてみれば面白いことばかり書かれています。

中でも中野市青年3団体（JA中野市青年部、信州中野商工会議所青年部、中野青年会議所）が主軸となり行った『信州中野おごっそフェア』が一番感慨深い思い出となっています。5社の広告代理店プレゼンを聞いて選定、インスタグラムでCM募集して選定、長野駅構内でのビラ配り、イベント当日もインカムを付けて1日中動いていて、当時はとても大変だったはずなのに、楽しかった事ばかりが思い出されるのは不思議なものです。

総会シーズンは来賓として呼ばれる事が多く、特に上記団体の総会は年齢が近い事もあり、懇親会はとても楽しいものでした。ただ、どちらも団体長の挨拶がとてもしっかりしていて、自分たちの総会に大きなプレッシャーを感じました。しかし、一番緊張したのは自分の総会挨拶ではなく、歴代委員長OB会での挨拶でした。会場が小さかったので身近な大物の席がとても近く、変な汗をかいて嘔みながらの挨拶になったのは苦い思い出です。

私は人の先頭に立てるような人間ではないと思っていましたが、委員長としての1年間は、自分の在り方を大きく変えてくれました。このような経験をさせて頂いた青年部に感謝し、この活動がこれからも続いていく事を祈念して寄稿させて頂きます。ありがとうございました。

JA中野市青年部の主な活動	社会の主な動き
3・15 第五十四回定期総会	平成30年
5・14 コンテナ文字作成	・平昌五輪で日本が冬季最多十三メダル
5・15 青年部ゴルフ同好会コンペ	・西日本豪雨 死者二二〇人超
5・18 青年部球技大会 (ソフトボール)	・日大アメフト部選手が危険タックル スポーツ界で不祥事相次ぐ
7・6 開葯事業反省会	・豊洲市場が開場
7・11 県青協親睦交流会	
7・28 「青年の日」	
9・7 ションションまつり	
9・7 県青協球技大会	
10・6 JAまつり(7日)	
10・6 JA遠州夢咲青年部・女性部との交流会	
10・20 信州中野おごっそフェア (21日)	
11・18 遠州夢咲フェスティバル	
11・10 市場流通研修(11日)	
2・10 JA全農長野との意見交換会	
2・14 支部活動発表大会	
2・19 第六十五回JA全国青年大会	
2・27 歴代委員長OB会	





## JA中野市青年部 60周年記念によせて

56代委員長 江本 高 幸

この度は、JA中野市青年部設立60周年大変おめでとうございます。

これも、諸先輩方をはじめ関係各所、盟友の皆さんのお力添えがあり60周年を迎えることが出来たと思います。

私の委員長時代を思い返すと、一番心に残ったことは、当時大雨の影響で篠井川が氾濫し、多くのきのこ小屋が浸水被害を受けてしまいました。そんな時多くの盟友が集まり復旧活動を行いました。この時は、青年部盟友の力は凄いものだと感じました。

また「信州中野おごっそフェア」では、農業生産者を全面に出したイベントを開催することができました。盟友の皆さんが参加してチカラを合わせた事で、こんなにも大きな事が出来るんだなと感じる一年でもありました。

今もまだコロナ禍で思う様な活動が制限されていると思いますが、チカラを合わせれば何でも出来る青年部だと思います。次の70周年、80周年と続くように願っています。

JA中野市青年部の主な活動	社会の主な動き
5.3.14 第五十五回定期総会	平成31年・令和元年
6.12.28 開葯事業反省会	・天皇陛下即位 新元号「令和」
7.12.28 青年部ゴルフ同好会コンペ	・消費税 10%に引き上げ
7.12.28 県青協親睦交流会	・京都アニメーション放火殺人事件発生
7.12.28 「青年の日」	・イチョー現役引退を表明
8.10.27 ショーンションまつり	
8.10.27 (公社)中野青年会議所創立五十周年記念式典	
8.25 JA遠州夢咲河城支部との交流会	
8.26 JA遠州夢咲河城支部視察対応(株)プランツ)	
9.5.6 県青協球技大会	
10.5.5 JAまつり	
10.5.6 JA遠州夢咲青年部・女性部との交流会	
10.26 信州中野おごっそフェア	
11.3.17 遠州夢咲フェスティバル	
12.11.3 JA青壮年部(六JA)交流会	
2.1.21 市場流通研修(22日)	
2.1.21 婚活事業「Farmer's Party	
2.2.14 活動実績発表大会	
2.25.14 歴代委員長OB会	



## JA中野市青年部 60周年記念によせて

57代委員長 宮川 昌 康

60周年おめでとうございます。

私が役員をやらせていただいた令和2年度は、令和元年12月より感染が始まった新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、日本でも緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置の発出に伴い、不要な外出や三密を控えること、飲食店への休業要請など、食と農に多大な影響があり、思うように青年部活動が行えませんでした。

そのような時期ではありましたが、小規模ながら「信州中野おごっそフェア」関連での農産物のPR活動や盗難防止パトロール、WEBを用いた会議を行うなど出来る範囲での盟友との交わりを大切にし、新型コロナウイルスに対して新しい取り組みを行った1年でした。

初めての取り組みにかなり戸惑いや無茶なお願いもありましたが、この頼りない委員長を支えていただいた本部役員、支部長会、事務局をはじめ盟友やJA中野市職員の皆さまに大変感謝しております。ありがとうございました。

個人的には、例年の各企画や活動など様々な事業が縮小や中止になり、非常に楽な年に委員長をさせていただいた事もありがたく感じている半面、懇親会や慰労会といった盟友同士の飲みニケーションの場を設ける事ができなかったのが非常に残念に思っております。

今後は情勢の変化や盟友の減少問題など、青年部活動への取り組みが更なる対応を求められると思いますが、70周年、80周年とJA中野市青年部がより一層盛り上がり続けていけるように協力していきたいと思っております。

JA中野市青年部の主な活動	
3・17	第五十六回定期総会
3・24	県青協 消費拡大啓発運動
6・30	開約事業反省会
7・10	県青協親睦交流会 「青年の日」
8・5	青年部ゴルフ同好会コンペ
9・26	信州中野ミニおごっそフェア (ながの東急ライブ) (〜27日)
9・29	第1回全農長野との意見交換会
10・22	県青協リーダー研修交流会
11・6	全支部農産物盗難一斉パトロール①
11・20	全支部農産物盗難一斉パトロール②
12・9	JA関青協幹部研修会
2・16	第六十七回JA全国青年大会
令和2年	社会の主な動き ・新型コロナウイルス感染拡大緊急事態宣言発令 ・安倍首相辞任 菅内閣発足 ・レジ袋有料化スタート ・あおり運転厳罰化「妨害運転罪」が制定



## J A 中野市青年部 60周年記念によせて

58代委員長 矢 岡 太 一

J A 中野市青年部60周年、誠におめでとうございます！

先輩方が築いてこられた歴史の節目に携わることができ、これまで支えてくださった皆様に感謝を申し上げます。

私が委員長を務めた2021年度は、コロナ禍2年目でした。活動が大きく制限されてしまう1年でしたが、上下する感染の波を見計らって盟友同士の意見交換会を実施することが出来ました。誰もが久々の宴席を楽しみ、話が尽きない様子を見て「ああ、やっぱ青年部ってこれだよなあ」と、対面で話をする事の大切さを噛み締めたことを覚えています。

2月にはウクライナとロシアの戦争が始まりました。農業にとってさらなる危機的状況となり、翌年度には農政活動を行うために仲間の生産者を誘って長野県青年部協議会へ参加しました。県青協に行くと、「中野市の奴はアツイ！」「コロナ禍なのに精力的に活動しているね！」といった他単組からの声をよく耳にします。その年我々が発信した問題提議に対しても、他単組から快く協力して頂くことができました。

今日まで真面目に楽しみながら青年部活動に取り組まれてきた先輩方、盟友の皆様が築いてこられた信頼があるからこそ、いざという時にまわりの理解や協力を得ることが出来るのだと強く感じました。

青年部で多くの経験や新しい考え方を頂くことが出来た事に感謝するとともに、これらを次の世代へ伝えていけるように役割を果たしていければと思います。

コロナが落ち着きを取り戻したこれから先の10年。たくさんお酒を飲んで、熱い議論を交わして、仲間の輪を広げて、新たな可能性をたくさん見つけて、自分達や周りの環境をどんどんアップデートさせていきましょう！

Weave History, Create Agrifuture!! (歴史を紡ぎ、農業の未来を創ろう!!)

令和3年	社会の主な動き	J A 中野市青年部の主な活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック・パラリンピック開催</li> <li>・新型コロナウイルスのワクチン接種開始</li> <li>・菅首相辞任・岸田内閣発足</li> <li>・大谷翔平メジャーMVP</li> </ul>	2・22 第六十八回J A 全国青年大会 2・18 全農長野との意見交換会② 11・19 学習会 10・20 農業支援事業説明会および 10・16 県青協リーダー研修交流会 9・17 全支部農産物盗難一斉パトロール(11月15日) 9・4 信州中野おごっそフェア(イオン中野店) (5日)	3・12 第五十七回定期総会 6・23 開葯事業反省会 7・8 南部地区意見交換会 7・16 西部地区意見交換会 7・20 北部地区意見交換会 7・29 県青協七十周年記念大会 8・4 青年部ゴルフ同好会コンペ 8・17 J A 常勤役員との懇談会 8・24 全農長野との意見交換会① 9・4 信州中野ミニおごっそフェア



# JA中野市青年部 60周年記念によせて

59代委員長 黒崎 資展

この度はJA中野市青年部60周年、誠にありがとうございます。歴史と伝統ある青年部の委員長を務めさせていただいたことを誇りに思います。

私が委員長を務めた年は新型コロナウイルスの影響が残る年でしたが、交流の場を作っていきたいと考えていました。出来る範囲で事業を行い、その度に多くの盟友と酒を酌み交わし、夜遅くまで青年部や農業について語り合っていたことを思い出します。青年部の良いところは、色々な品目の生産者が集まっているところではないでしょうか。多品目の話が飛び交う盟友との語り合いは、私にとってとても新鮮に感じました。現在の農業を取り巻く環境は依然として厳しく、農業資材費や光熱費の高騰など課題は山積しています。簡単に解決できるようなものではありませんが、その考えるきっかけづくりを青年部が担って欲しいと思います。

青年部が益々発展しますよう思いを込めまして、記念大会によせてのお祝いとさせていただきます。

令和4年	社会の主な動き	22	21	12	11	11	10	10	9	9	8	8	8	7	7	7	6	3	
<ul style="list-style-type: none"> <li>安倍晋三元首相が銃撃され死亡</li> <li>北京五輪 日本勢のメダル冬季最多</li> <li>改正民法施行により成人年齢が十八歳に引き下げ</li> <li>ロシア連邦がウクライナへ軍事侵攻を開始</li> </ul>		21	10	30	12	29	15	11	27	8	27	13	10	25	21	6	17	17	
		全農長野との意見交換会③ 第六十九回JA全国青年大会(5/22日)	中野市議会経済建設委員会との懇談会	青年の主張発表大会(5/13日)	JA常勤役員との懇談会② 市場流通研修(5/13日)	JA常勤役員との懇談会① 三期(R1・2・3)合同反省会	信州中野おごっこそフェア 県青協リーダー研修会	全農長野との意見交換会② ル(5/11月14日)	全支部農産物防犯パトロール(5/28日)	信州中野ミニおごっこそフェア(イオン中野店)(5/28日)	信州中野ミニおごっこそフェア(オランヂエ)	信州中野ミニおごっこそフェア	JA青年部ゴルフ同好会コンペ	JA青年部ゴルフ同好会	事業承継学習会	JA青年の日「全体親睦会」	全農長野との意見交換会①	開葯事業反省会	第五十八回定期総会

JA中野市青年部の主な活動



## 南宮支部

私たち南宮支部は現在18人の盟友で活動しています。生産品目はきのこ、果樹、花、野菜など多岐に渡り、考え方や栽培方法も十人十色なので刺激を受ける事も多いです。

『よく飲み、よく騒ぎ、よく語る』年齢を越え

た同志。何か面白いものはないかと日々の青年部活動について常に考え、直売事業や生産物に付加価値をつけ、中野市の未来の農業を育成していく立場になって行ければと思います。



## 延徳支部

我々延徳支部は現在10名で活動しております。菌茸や花きを中心に、野菜・果樹など様々な品目を生産しております。ハウス設備の栽培者も多数いますが、とりわけ菌茸の生産については、生産量日本一の中野市の中で最も大規模化の進んだ地域といえます。

支部活動については、遊休荒廃地事業に取り組

んでおり、主に盆花のアスターを栽培しています。盆前には市内の直売所で販売しております。

現在、世界的に資材や燃料の高騰など様々な問題が多くありますが、コロナ禍の状況も変わりつつある中で、情報交換、意見交換など積極的に行い、若い力で未来に農業がつながるように挑戦していきたいと思っています。



## 平野支部

私たち平野支部は、令和4年度まで4名の盟友で活動していました。少し前は菌茸生産者が中心でしたが、今は野菜の生産者が中心となりました。

支部活動としましては、さくらんぼの花摘みや平野地区の青年部OBのビニールハウスの被覆作業、地区役員との懇談会、食育活動として平野保育園の園児と共にジャガイモやトウモロコシを作

り、給食に使っていただき、私達も招待され喜びを分かち合いました。

そして令和5年度、私たち平野支部は人数減のため活動休止致しました。苦渋の選択ではありますが、個々の経営あつての青年部活動だと思っております。また整い次第活動再開を検討していこうと思っています。



## 高丘支部

私たち高丘支部は現在9名の盟友で活動し、果樹を中心に野菜、花きなどを栽培しています。

高丘地区は中野市の西部に位置し、高速道路の信州中野ICや観光客で賑わう農産物産館「オランチェ」があり、中野市の西の玄関口として発展しています。

支部の活動に関しては、食育事業の一環として高丘小学校と協力し、毎年5月に小学生とサツマイモの苗植えを行っています。1学年ずつ畝作り、

マルチ敷き、苗植え、水やりを児童たちに教えながら一緒に行っています。子ども達も土に触れる機会が減った昨今、少しでも作物を育てる楽しさを感じてもらえたら嬉しいです。

この3年間はコロナ禍で活動が制限されてきましたが、これからはまた支部独自の事業を行い、他支部との交流や、意見・情報交換しながら、農業を盛り上げていきたいと思っています。



## 長丘支部

長丘支部では現在12名の盟友で活動を行っています。主に果樹農家が多く、家族経営や法人経営とある中、20代～40代と幅広い年齢層で、既婚者に未婚者それぞれですが、年々盟友数も増えていて非常に活気ある支部となっています！

支部活動としては、りんごの花摘作業や、遊休荒廃農地を利用して大豆を作って販売をしています。数年前は小学生と一緒に食育事業として枝豆の収穫を行ったり、その場で茹でて食べたりなどしていましたが、少子化による小学校の合併や、

新型コロナウイルスの影響など環境が変わった現在は行っていませんが、いずれ再開出来るよう頑張りたいです。

支部活動を通じてよく飲み、よく騒ぐ。そしてよく語るを繰り返し、先輩や後輩の間を縮めて仲良くなり結束力を高めてきました。

世間は度重なる物価高騰によりとても厳しい状況が続きますが、今まで以上に切磋琢磨して乗り越えて行きたいと思っています！



## 平岡支部

平岡地区は夜間瀬川扇状地に位置し、ブドウ、リンゴ、桃、プラム、サクランボ、梨等の果樹栽培が盛んに行われています。また菌茸、イチゴ及び花卉等、生産品目の多様性もみられます。

私たち平岡支部は、現在38名の盟友で開葯事業や学習会、防犯パトロール及び市場視察などの活動をしています。その中でも開葯事業は地域農業を支える重要な事業であり、特に力を入れています。そして、盟友が集まって共に作業をすること

により、意見交換や親睦を深める良い機会となっています。

60周年を迎えた現在の営農環境は、諸材料費高騰により楽観できない状況ではありますが、私たちには先輩達から承継してきた知恵と技術があり、また多様な盟友の創意と工夫を加えていくことで、「豊かで活気ある平岡」の実現、ひいては中野市の農業発展にも資すると考えています。





## 科野支部

私たち科野支部は現在8名の盟友で、年齢は20代から40代と幅広い年齢層で活動しています。

科野地区は、高社山の麓に位置し、自然環境に恵まれ、ぶどう、りんご、桃、梨、プラム、さくらんぼ等の果樹類に加えて、えのきやしめじ等の菌茸の栽培も行われています。

支部活動については、開葯事業をはじめ、研修や視察など、盟友同士が楽しめる活動を中心に行っています。また、最近ではLINEを活用して、

お互いに支え合う情報交換の場を作り、連帯感を強める活動も行っています。

近年、農業を取り巻く環境では、高齢化問題、後継者不足、温暖化問題、諸資材の高騰等、厳しさを増していますが、青年部活動を通じて多くの人々との交流や意見、情報の交換をし、盟友と共に新しい事に挑戦しながら活動して行きたいと思っています。



## 倭支部

私たち倭支部は、現在10名の盟友で活動しております。10名のうち6名を本部の名簿にあげており、あとの4名は年齢の関係で本部には名簿をあげておりませんが、左記の6名と一緒に支部の活動を盛り上げてもらっています。

倭地区は、中野市の最北端に位置しており、雪深い地域です。管内では、果樹や野菜、菌茸等、種々の野菜を栽培しております。

支部の事業については、倭小学校の高社小学校への統合や、新型コロナウイルス感染拡大の影響

により、近年は支部独自の事業が行えていない状況にあります。しかしながら、盟友の多くが本部役員を経験しており、支部の事業が低迷する分、本部事業に積極的に参画しております。

農家数の減少、農作物の価格低迷等、農業を取り巻く環境は厳しいものがあります。そのような環境だからこそ、若い力が集まる青年部が倭地区を盛り上げていくとともに、倭地区の盛り上げを中野市全体に波及できるよう活動して行きます。

# 足跡



JA 中野市青年部設立50周年記念大会（平成25年10月13日）



とうもろこし定植（平成26年5月20日）



善光寺御開帳「日本一の門前町大縁日」出店  
（平成27年5月18日）



市場流通研修（平成27年8月5日）



西町雑市みこし担ぎ（平成28年3月31日）





コンテナ文字作成（平成28年5月16日）



農産物産館「オランチェ」20周年感謝祭  
（平成28年6月11日）



杉浦太陽とのBBQ交流会（平成29年5月29日）



県青協親睦交流会「青年の日」（平成30年7月11日）



遠州夢咲フェスティバル（平成30年11月18日）



婚活事業「Farmer's Party2020」  
(令和2年2月1日)



青年部球技大会 (令和元年5月10日)



全支部で行なった開薬共同事業 (令和3年4月12日)



J A 常勤役員との懇談会 (令和3年8月18日)



信州中野おごっそフェア (令和4年10月15日)



# あ と が き

J A 中野市青年部60周年記念誌を発行するにあたり、ご指導ご協力をいただきました関係各位、並びにご寄稿いただきました50～59代委員長、令和4年度支部長の方々には、まずもってお礼申し上げます。

青年部も昭和39年に設立されてから早60年、人生でいうところの還暦にあたります。今回、編集にあたりその歴史を知る機会に恵まれ、緒先輩方の農業に賭ける情熱と、築きあげられた伝統と実績を目の当たりにして、改めて我々もその一端を担うことを誇りとし、継承していかなければと強く感じております。

現在、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。この10年間を振り返ってみると、T P P 発効による農作物の関税撤廃、鳥インフルエンザなどの家畜伝染病、食品加工物の産地・消費期限の偽装、また近年のウクライナ侵攻や円安による肥料・きのこ培地をはじめとする資材価格や燃料・電気料金の高騰、コロナ禍による活動の制限、常態化する異常気象など、農業関係者の頭を悩ませています。

農業にとって大変厳しい10年ではありましたが、このような状況下にあっても、青年部では各支部で遊休荒廃地を利用し、食育の一環として小学生や園児と農作物の栽培をしたり、全青協主催の看板かかしコンクールで各支部ごとに制作した作品が全国表彰されています。近年では信州中野商工会議所青年部・(公社)中野青年会議所と共に「信州中野おごっそフェア」を開催し中野市のPR・農産物の消費宣伝と、それぞれの時代にあった活動を行ってきました。

これまでの先輩方の築いた農業の生産基盤を維持・発展させ、盟友一丸となりこれからの農業の未来を創っていく想いから60周年のスローガンを「これまでとこれから」としました。

最後に、記念誌の編集に際し最善を尽くしておりますが、何かと至らぬ点があるかと存じます。お詫びを申し上げ、ご理解賜れますと幸いです。我ら J A 青年部がこれからも英知と行動力をもって、更なる発展に向かって共に進みましょう。

【実行委員長 小林直之】

## J A 中野市青年部60周年記念誌

令和5年5月

発行 J A 中野市青年部

編集 J A 中野市青年部設立60周年実行委員会  
記念誌発行部





# J A 中野市青年部60周年記念大会

日時 令和 5 年 5 月 15 日(月)

場所 ホ テ ル 国 際 21  
THE FIVE SEASONS

## 次 第

- 一 . 開会のことば
- 二 . J A 青年組織綱領唱和
- 三 . 委員長あいさつ
- 四 . J A 組合長あいさつ
- 五 . 来賓祝辞
- 六 . 平成25年からのあゆみ
- 七 . 感謝状・記念品贈呈
- 八 . 大会宣言
- 九 . J A 青年の歌斉唱
- 十 . 万歳三唱
- 十一 . 閉会のことば

# 平成25年からのJA

役職名	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
委員長	宮澤 悟	土屋 雄一	小野 豊一	竹内 智昭	浅沼 一明
副委員長 (会計)	土屋 雄一	小野 豊一	竹内 智昭	浅沼 一明	塩野谷 忠彦
副委員長 (農政文教部長)	高橋 一隆	阿部 智行	小林 義明	小野 雄介	高木 純也
副委員長 (生産部長)	関口 真人	藤澤 茂樹	保科 利徳	長島 雄一	丸山 尚
農政文教部長 副	小野 豊一	竹内 智昭	小野 雄介	高木 純也	豊田 清士
農政文教部長 副	阿部 智行	小林 義明	浅沼 一明	塩野谷 忠彦	武田 広明
生産部副部長 (果樹)	酒井 達朗	保科 利徳	長島 雄一	荻原 直樹	市村 正人
生産部副部長 (菌茸蔬菜)	藤沢 茂樹	徳永 和典	内藤 輝一	丸山 尚	篠原 正人
顧問	高橋 直樹	宮澤 悟	土屋 雄一	小野 豊一	竹内 智昭
監事	宮島 和真	酒井 達朗	高橋 辰也	荒井 健悟	倉品 慎太郎
監事	池田 正博	武田 清重	徳永 和典	内藤 輝一	湯本 剛士
中野支部長 ※H27年度～ 南宮支部長	竹内 智昭	小野 雄介	荒井 健悟	倉品 慎太郎	竹内 篤史
日野支部代表 ※H27年度～ 南宮支部長	佐藤 要一	田川 斉			
延徳支部長	中山 陽一	押鐘 良介	久保田 智紀	高田 健史	渡辺 信也
平野支部長 ※令和5年度～休会	高木 純也	竹内 伊莊	古屋 健太	堀内 明良	勝山 翔太
高丘支部長	小林 義明	内藤 輝一	丸山 尚	市村 正人	町田 栄二
長丘支部長	大塚 隆志	高橋 辰也	篠原 正人	江本 高幸	浅沼 幸治
平岡支部長	武田 清重	武田 豊	武田 尚之	湯本 剛士	小沢 紀晃
科野支部長	岩下 祐樹	佐藤 裕基	塩野谷 拓	上原 祐一	渡辺 友樹
倭支部長	永沢 誠一	豊田 清士	豊田 清士	豊田 清士	三井 透

## 青年部役員名簿

平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
豊田清士	江本高幸	宮川昌康	矢岡太一	黒崎資展	三井透
篠原正人	田川 齊	荻原佑介	田中 裕	竹内康祐	浅沼義浩
武田広明	高田健史	久保田智紀	永沢健人	池田優一	田中克哉
市村正人	武田誠一	北原洋希	久野泰広	小林直之	湯本尚史
高田健史	宮川昌康	矢岡太一	竹内康祐	浅沼義浩	牧野 剛
江本高幸	荻原佑介	田中 裕	池田優一	三井透	北村友三
田川 齊	久保田智紀	久野泰広	小林直之	田中克哉	江原宏晃
武田誠一	北原洋希	永沢健人	黒崎資展	湯本尚史	阿部達也
浅沼一明	豊田清士	江本高幸	宮川昌康	矢岡太一	黒崎資展
竹内篤史	滝澤 敏	児玉敏也	小林弘樹	田中 裕	池田優一
渡辺信也	三井透	田中正輝	大塚光久	永沢健人	宮沢洋平
滝澤 敏	矢岡太一	小林直之	滝沢洋行	牧野 剛	竹内智昭
黒岩悠介	児玉敏也	小林弘樹	江原宏晃	高田健史	押鐘良介
前嶋浩明	宮澤直樹	竹内康祐	前嶋浩明	宮澤直樹	
北原洋希	石川秀一	酒井正剛	松島吉洋	北村友三	宮島大智
宮川昌康	浅沼義浩	大塚光久	川島良平	馬場純也	清水太郎
武田直人	田中正輝	出川利成	荻原和正	阿部光明	下田康史
岩下祐樹	江口未知之	高橋嘉也	湯本尚史	清水昭博	清水昭博
三井透	矢野修平	矢野修平	宮沢洋平	宮沢洋平	豊田清士

# 農協青年組織性格五原則（長野新五原則）

（鬼怒川五原則）

昭和28年5月15日 鬼怒川会議  
昭和40年5月1日 一部改正

（長野新五原則）

昭和50年4月8日 第24回通常会議  
平成2年4月19日 第39回通常総会  
一部改正

## 1 農協運動をこころざす農協青年の組織である

農協青年部は、農協をよりどころとして結集し農協運動を通じ、住みよい社会の建設をめざして活動する農業青年の組織であり、単なる職業的な網羅組織ではない。

## 2 自主的な運営を基本とした組織である

農協青年部は、農協の外郭団体や単なる事業協力団体ではなく、農協組織の中に位置づけられた組織である。しかし、農協の内部構や意思決定関ではなく、自主的につくった独立した組織であるので、農協長の指揮下には属さず自主的な運営と運動を基本とした組織である。

## 3 協同組合の本質を究明し農協運動を実践する基盤組織である

農協青年部は、農協運動の路線や経営の理念、さらには農協の事業方式などについてその理論と実際を究明し、農協運動推進の先頭に立つ実践的な組織基盤であり、将来の優れた農協幹部を生み出す組織である。

## 4 農業の発展と、住みよい郷土の建設をめざす組織である

農協青年部は、農協と郷土を愛し、営農を中心とした協同事業活動の発展に力を入れて、農業の振興と農業の近代化に取り組み、農業を基本とした豊かな、住みよい郷土の建設をすすめる組織である。

## 5 政治に対して関心を持ち、政策要求活動にとりくむ組織である

農協青年部は、政治に対して関心を持ち、政治的な自覚を高め、農協および他の組合員組織と協同し、農業者の政策要求を民主的な運動によって、国家や地方自治体に対して積極的に反映させる役割をはたす組織である。そのため、政党や政治家との関係は常に主体性をもって対応し、政党に対しては中立の立場をとるが、盟友がいかなる政治的・思想的立場をとろうとも、これを拘束しない。

# 感謝状贈呈者

(50～59代委員長)

年 度	氏 名	地区名
第50代 平成25年度	宮 澤 悟	高 丘
51代 26年度	土 屋 雄 一	中 野
52代 27年度	小 野 豊 一	中 野
53代 28年度	竹 内 智 昭	南 宮
54代 29年度	浅 沼 一 明	長 丘
55代 30年度	豊 田 清 士	倭
56代 令和元年度	江 本 高 幸	長 丘
57代 2 年度	宮 川 昌 康	長 丘
58代 3 年度	矢 岡 太 一	南 宮
59代 4 年度	黒 崎 資 展	平 岡

# 記念品贈呈者

歴代事務局（平成22年度～）

平成22～26年度	伊 東 弘 記
平成27～28年度	浅 沼 之 博
平成29～令和2年度	宮 川 直 樹
令和3年度	秋 元 海 知

# 大会宣言

われわれは、ここに60周年記念大会を開催し、これまで諸先輩各位の培ってきた伝統と歴史を顧みるとともに、今日おかれたわれわれの立場を十分理解し、これからの新たな時代へと飛躍を期して集結した。

近年の農業を取り巻く環境は厳しく、地球温暖化をはじめとした異常気象の常態化、担い手の減少、物価高騰など問題は山積しており、これからの道のりは決して平坦ではない。

このような情勢下にあっても、われわれは自らの役割と課題を明確にし、先進的かつ持続可能な農業経営・地域づくりを進めるべく、組織を挙げて取り組むものである。

よってわれわれは、本大会を契機に盟友の活性化に向け、全力を尽くして邁進することを誓うものである。

令和5年5月15日

J A 中野市青年部60周年記念大会



# J A 中野市60周年記念事業実施要領

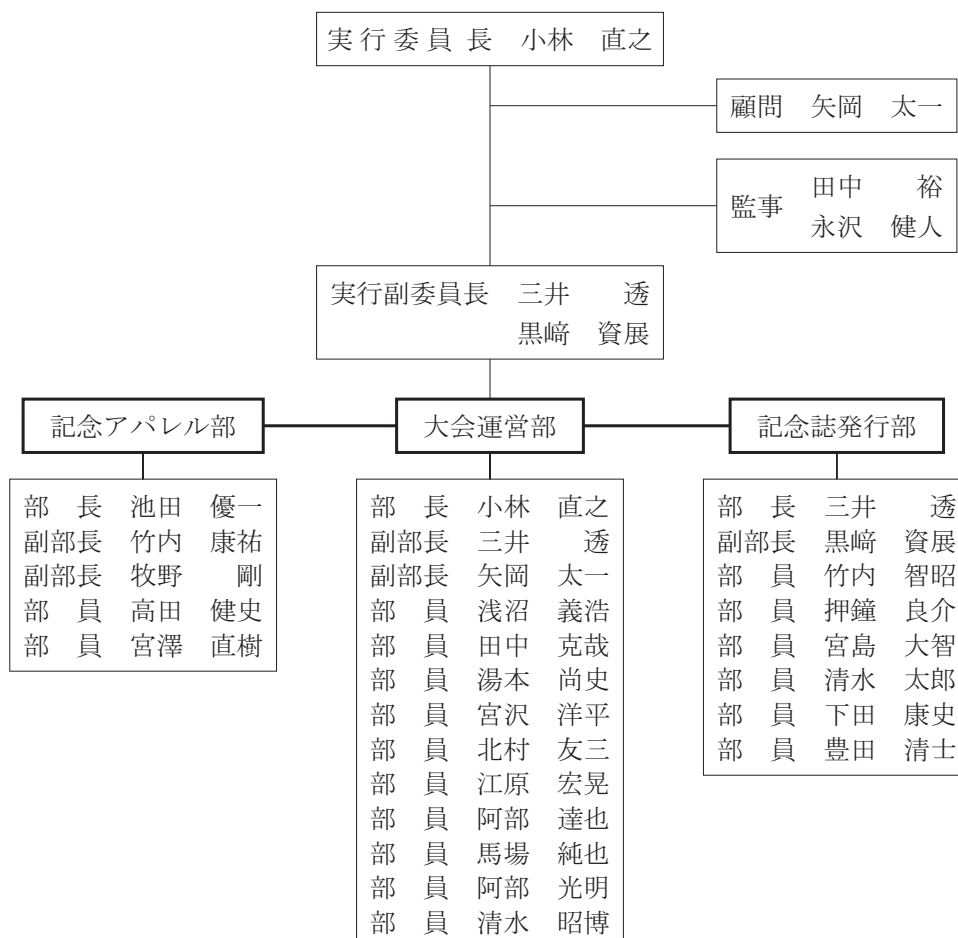
## 1. 目的

我々はJ A中野市青年部設立60周年を迎えるにあたり、J A青年部たることの確認と、将来展望を図るため、記念大会、記念Tシャツの作成、記念誌の発行を行い、60周年の足跡をみつめ直すと共に先輩方の功績に敬意を表し、盟友の結束を強め、もって青年部、J A、地域社会の一層の発展を期すことを目的とする。

## 2. 事業

- 1) 事業の企画運営は実行委員会でおこなうが、盟友全員の参加の事業であることを認識する。
- 2) 実行委員会は本部役員、支部長全員がこれにあたり、担当でない部門についても相互協力をする。
- 3) 事業は、記念大会を実施するとともに、記念Tシャツの作成、記念誌を発刊する。
- 4) この事業の会計は特別会計とし、資金調達は盟友より特別徴収のほか、実行委員会において進める。
- 5) 監事はこの業務及び会計を監査する。

### 60周年記念事業実行委員会組織図



# J A 中野市青年部規約

(名 称)

**第1条** この部は J A 中野市青年部（以下青年部という）と称して、中野市農業協同組合内におく。

(目 的)

**第2条** この青年部は、積極的に農業協同組合運動を推進し、併せて部員並びに組合員の社会的経済的地位の向上と農村の近代的発展に寄与することを目的とする。

(資 格)

**第3条** この青年部は中野市農業協同組合の組合員、または組合員家族の青年にして、目的に賛同する同志をもって組織する。

(事 業)

**第4条** この青年部は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 農業協同組合運動の強力なる推進。
- (2) 農業経営の近代化を図るために必要なこと。
- (3) 農政運動に関すること。
- (4) 各生産部会との連絡協調。
- (5) 各種研究会、講習会等の開催。
- (6) その他目的達成に必要なこと。

(構 成)

**第5条** この青年部は事業推進のため南宮、延徳、平野、高丘、長丘、平岡、科野、倭の計8つの地区に支部を置く。ただし、支部間で協議の上、協力して事業推進できる（ブロック制）。なお、ブロック制を導入又は解消の場合は、委員長へ報告し、役員会にて承認する。

**第6条** この青年部は次の専門部を置く。

- (1) 農政文教部
- (2) 生産部

(役 員)

**第7条** この青年部は、次の役員をおく。

委員長	1名	副委員長兼会計	1名
副委員長兼農政文教部長	1名	副委員長兼生産部長	1名
副部長 農政文教部	2名	副部長 生産部	2名
顧問	1名	監事	2名

2. 委員長は、青年部を代表し、業務を総括する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはこれを代理する。
3. 監事は業務、会計を監査する。

**第8条** この青年部の正副委員長、専門部副部長、顧問、監事は総会において選出する。

2. 役員任期は、総会での議決を経た日から1ヵ年とする。
3. 役員に欠員の生じた時は新たに役員を選任するが、その任期は前任者の残任期間とする。ただし再選を妨げない。

(会 議)

**第9条** この青年部の会議は総会、役員会、支部長会、専門部会とする。

ただしブロック制導入支部は、ブロック代表者が支部長会に属する。

- (1) 総会は青年部の最高決定機関とし、部員の代表者の出席により成立し、議決は出席者の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長これを決する。
- (2) 総会は、毎年度初頭に開く。ただし必要に応じて開くことができる。
- (3) 総会は委員長が招集し、役員会、支部長会は委員長が主宰する。
- (4) 専門部会は、各専門部長が主宰する。

(附議事項)

**第10条** 次の事項は総会の議決を経なければならない。

- (1) 事業計画ならびに予算
- (2) 事業報告ならびに決算
- (3) 規約の制定ならびに改廃
- (4) 解散、合併に関する事
- (5) 役員を選任および解任
- (6) 会費の賦課および徴収方法

(運 営)

**第11条** この青年部は事務局を設け、JA中野市職員の中より委員長がこれを委嘱する。

**第12条** この青年部の活動費は会費、助成金、その他をもってあてる。

**第13条** この青年部の決算年度は3月1日より翌年2月末日までとする。

**第14条** 権利義務に関係しない軽微な事項の修正及び違算、誤字・脱字については、役員会の議をもって、修正することができる。

## 附 則

1. この規約は、昭和48年4月16日より施行する。
2. 青年部の年齢は、おおむね42歳までとする。
3. 昭和53年3月16日一部改訂する。
4. 昭和57年3月16日一部改訂する。
5. 昭和61年3月17日一部改訂する。
6. 平成5年3月15日一部改訂する。
7. 平成8年3月12日一部改訂する。
8. 平成12年3月8日一部改訂する。
9. 平成17年3月16日一部改訂する。
10. 平成22年3月19日一部改訂する。
11. 令和3年3月12日一部改訂する。



# JA青年の歌 「君と」

作詞：一色 薫  
作曲：千葉一弘  
編曲：矢野立美

**A**

は るかな あ おぞらー きみ とかわす ほほ えみよ ー つば

さひろげ とび たつように この おもい たか まって ー

**A**

お それる こ となく とき をこえる きみとともに ゆめ

をもとめ かた りあかした せい しゅんは かぎりなく だ か ら

**C**

はるなつあきふゆ あ たらしいのち だいじにそだてて いこう そして

よろこびかなしみ きみとわかちあい しあわせぎずいて いこう

## JA青年の歌「君と」

遙かな青空  
君と交わす 微笑みよ  
翼ひろげ 飛び立つように  
この思い高まって  
恐れることなく  
世代を超え 君とともに  
夢を求め 語り明かした  
青春は限りなく

※だから 春夏秋冬  
あたらしい生命 大事に育てていこう  
そして 喜び悲しみ  
君とわかち合い 幸せ築いていこう

未来の果てまで  
愛を唄う ゆりかごよ  
風にそよぐ 緑の大地  
すこやかに やすらかに  
挫けることなく  
生きていこう 君とともに  
力強く かけがえのない  
青春はいつまでも

※※だから 春夏秋冬  
ありがとう込めて やさしさ伝えていこう  
そして いつかはこの日を  
君と思い出す 輝く大地に立って

(※印くりかえし)  
(※※印くりかえし)





---

**JA YOUTH**